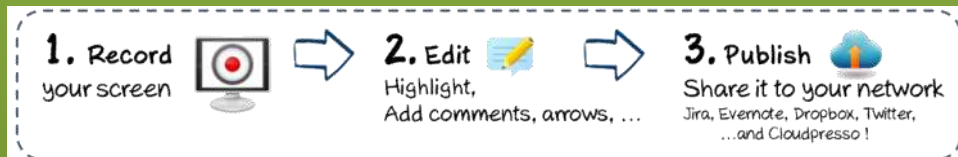




Screenpresso マニュアル

Screenpresso は PC の画面キャプチャソフトで、スクリーンショットや動画を撮影することができ、説明書やレポートなどの作成に役立ちます。軽快で使いやすく、編集や共有機能もついています。




2017

1 マニュアルについて

LEARNPULSE 社の公式マニュアルで、Screenpresso のすべての機能について説明されています。

マニュアルの最新版は以下でダウンロードできます。

<http://www.screenpresso.com/docs/screenpressohelp.pdf>

また、Screenpresso を起動し、 キーを押しても、オンラインで最新のマニュアルが開かれます。ただし、Screenpresso.exe と同じフォルダーに PDF のマニュアルが保存されていると、そちらの方が開かれます。

さらに詳しい情報は「よくある質問」のページをご覧ください。

<http://www.screenpresso.com/faq>

また、YouTube でチュートリアルを見ることもできます。

http://www.youtube.com/results?search_query=screenpresso

それでもご不明な点がある場合はサポートまでご連絡ください。

support@screenpresso.info

2 目次

1	マニュアルについて	1
2	目次	2
3	動作環境	5
4	インストール、アップデート	5
4.1	最新版のダウンロード	5
4.2	セットアップ	5
4.3	インストール	6
4.4	「Program Files」フォルダーにインストール（管理者権限が必要）	7
4.5	コマンドライン（上級者向け）	7
4.6	アンインストール	9
4.7	インストールせずに実行	9
4.8	プログラムフォルダー内のファイル	9
4.9	アップデート、新バージョン	10
4.9.1	正式版	10
4.9.2	ベータ版	10
4.9.3	更新を確認	10
4.10	企業での展開	12
4.10.1	ライセンスキーを展開	12
4.10.2	バイナリ（並びにすべてのファイル）を展開	13
4.10.3	ポリシーと初期設定（PRO ユーザーのみ）	14
5	ライセンス	14
5.1	ライセンス認証	14
5.2	ライセンス管理	15
6	Screenpresso の主な機能	16
6.1	即座に使用	16
6.2	ファイルの保存先について	16
6.3	ワークスペース	16
6.4	ファイルの形式	17
6.5	ホットキー	17
6.5.1	主なホットキー	17

6.5.2	その他のホットキー	18
7	スクリーンショット	20
7.1	撮影	20
7.2	全画面スクリーンショット	24
7.3	前回指定した領域のスクリーンショット	26
7.4	スクロールする画面のスクリーンショット	26
7.4.1	自動スクロールキャプチャ	27
7.4.2	手動スクロールキャプチャ	27
7.5	スクリーンショット撮影の流れ	28
8	動画	31
8.1	録画	31
8.2	録画用ツールバー	33
8.3	録音	33
8.4	ウェブカメラ	34
8.5	ズーム	35
8.6	録画開始	35
8.7	録画の流れ	36
8.8	Screenpresso メディアプレーヤー	37
8.9	動画のフォーマット変換	39
8.10	Screenpresso の機能について	39
9	ワークスペース	39
9.1	概要	39
9.2	ドラッグ&ドロップ	41
9.3	ファイルの自動削除	41
9.4	ワークスペースの管理	41
9.5	ワークスペースの同期	43
9.5.1	Screenpresso Cloud との同期	43
9.5.2	Dropbox との同期（将来対応予定）	44
10	ファイルの管理	45
10.1	ファイル管理	45
10.1.1	ファイルの削除	47
10.1.2	ファイル名の変更	47

10.1.3	異なるワークスペースにファイルを移動	47
10.1.4	ファイルの表示順序	48
11	ファイルの編集	49
11.1	メイン画面	49
11.2	画像タブ	59
11.3	隠し機能	62
11.4	別のエディターで編集	62
12	動画の編集	62
12.1	内臓エディター	62
12.2	別のエディターで編集	63
13	ドキュメント生成ツール	63
13.1	基本的な使い方	63
13.2	設定	66
14	ファイルの共有	66
14.1	ローカル内での移動	66
14.2	ウェブサービスやクラウドで共有	67
14.2.1	Screenpresso Cloud でパブリック URL を取得する	67
14.2.2	共有履歴	69
15	設定	69
15.1	一般	69
15.2	スクリーンショット	70
15.3	共有	72
15.4	動画キャプチャ	72
15.5	高度な設定	73
15.5.1	ワークスペースの上級者向け設定	73

3 動作環境

以下の環境が必須です。

- OS : Microsoft Windows XP SP3, Vista, 7, 8, (32-bit, 64-bit)
- CPU : 2.0 GHz 以上
- メモリ : 2 GB 以上
- 空き容量 : 100 MB 以上

Screenpresso 自体の容量は 32～150 MB です。

Screenpresso.exe を実行するには **Microsoft .NET Framework 4 以降**が必要です。

ダウンロード URL : <http://ja.screenpresso.com/download>

4 インストール、アップデート

4.1 最新版のダウンロード

Screenpresso の最新版は公式サイトからダウンロードできます。

<http://ja.screenpresso.com/download>

無料版も PRO 版も同じプログラムですが、PRO 版を利用するにはライセンス認証が必要です。

注 :

プログラムの「製品情報」を開き、「**更新を確認**」をクリックすると、最新バージョンの情報が表示され、インストールすることができます。

4.2 セットアップ

Screenpresso を利用するには 2 つの方法があります。

- **コンピューターにインストール** : Screenpresso.exe を実行し、コンピューターにインストールして起動します。管理者権限は不要です。メモリの使用が少なくなるため、この方法を推奨します。
- **インストールせずに実行** : プログラムをインストールせず、Screenpresso.exe から直接実行します。USB メモリなどの外部メディアに保存して実行することもできます。

Screenpresso.exe をダブルクリックしてください。

初めの画面で、**インストール**するか、**直接実行**するかを選択できます。また、使用言語を設定することもできます。一度インストール、あるいは直接実行するとこの画面は表示されません。



画像 1 : セットアップ

- 1) Screenpresso のバージョン番号です。
- 2) ライセンス使用許諾契約に同意されたなら、チェックを入れてください。
- 3) コンピューターにプログラムをインストールします。
- 4) インストールせずに、Screenpresso.exe から直接実行します。
- 5) 使用言語を選択してください。

4.3 インストール

「コンピューターにインストール」をクリックすると、バックグラウンドでインストールが開始します。既定の保存先は以下になります。

C:\Users\<アカウント名>\AppData\Local\LearnPulse\Screenpresso

また、以下の設定も行います。

- スタートメニューにショートカットを追加
- スタートアップ時に自動起動（プログラムの設定画面から変更できます）
- インストール完了後にプログラムを起動

注：

- ウイルス対策ソフトにより警告が出され、正しくインストールされないこともあります。その場合、ウイルス対策ソフトを一時的に停止してください。
- Screenpresso をインストールしたユーザーのみが使用できます。

4.4 「Program Files」フォルダーにインストール（管理者権限が必要）

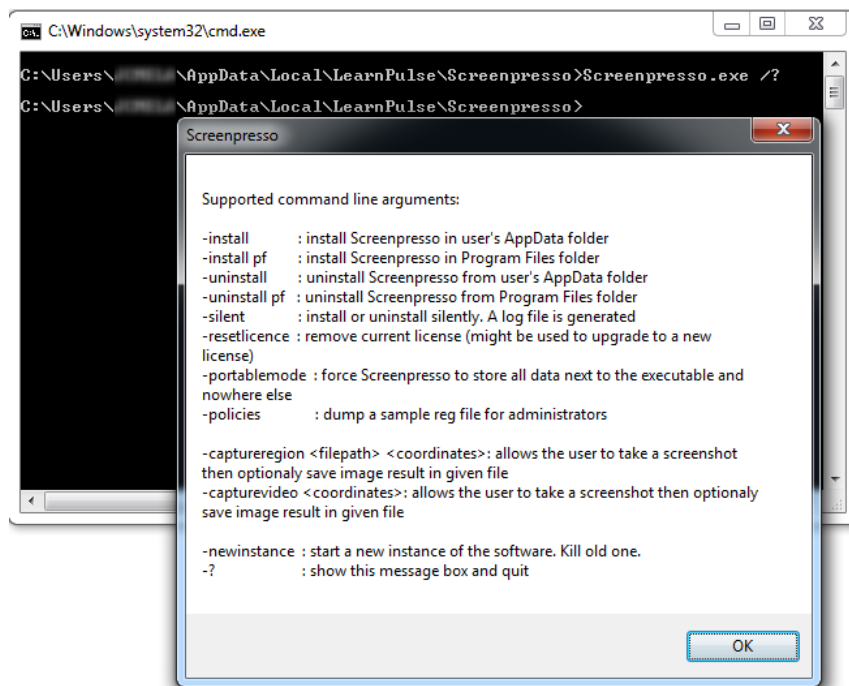
Screenpresso を「Program Files」のフォルダーにインストールする場合は管理者権限が必要です。管理者アカウントで Screenpresso.exe を右クリックし、「管理者として実行」を選択してください。初めの画面が開かれたら、「Control」キーを押しながら「コンピューターにインストール」をクリックしてください。

注：

- 自動アップデートやアンインストールにも管理者権限が必要です。
- 「Program Files」のフォルダーにインストールすると、すべてのユーザーが使用できます。
- よくある質問もご覧ください：<http://www.screenpresso.com/faq>

4.5 コマンドライン（上級者向け）

コマンドラインの入力でインストールする方法もあります。コマンドプロンプトを実行し、「Screenpresso.exe -?」と入力すると、引数の一覧が表示されます。



画像 2：コマンドライン

Screenpresso をサイレントモードや Microsoft SMS (Systems Management Server) 経由で使用する場合には利用してください。

コマンドライン引数	動作
-install	Screenpresso を以下のフォルダーに保存します。 C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\LearnPulse\Screenpresso
-install pf	Screenpresso を以下のフォルダーに保存します。 C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso (管理者権限が必要です。)

-uninstall	Screenpresso を既定のフォルダーからアンインストールします。
-uninstall pf	Screenpresso を「Program Files」フォルダーからアンインストールします。 (管理者権限が必要です。)
-silent	画面を開くことなく、サイレントでインストールやアンインストールをします。「Screenpresso.exe」ファイルと同じフォルダーにログファイルが作成されます。
-resetlicence	認証済みのライセンスを解除します。
-portablemode	インストールされている場合でも、Screenpresso.exe から直接実行します。(データはすべて「Screenpresso.exe」ファイルと同じフォルダーに保存されます。)
-policies	「ScreenpressoPolicies.adm」や「ScreenpressoPolicies.reg」のダンプファイルをデスクトップに作成します。管理者のみが使用できます。
-activate	Immediately activate Screenpresso PRO. Activation key can be given via next command line parameter. If it not given, Screenpresso will load it from either "activation.lic" file or "settings.xml" file.
-captureregion [パス] [座標] PRO 版でのみ利用できます。無料版ではスクリーンショットにロゴが付きます。	<p>座標空間を指定してスクリーンショットを撮り、指定したパスに保存します。</p> <p>座標 : Rectangle オブジェクトの座標空間での左上の点(x、y)、およびその幅と高さによって囲まれる座標空間内の領域を指定します。「X;Y;幅;高さ」の形式を使用し、例えば、「0;0;640;480」と入力します。</p> <p>全画面には「-1」を使用し、「-1;-1;-1;-1」と入力します。</p> <p>座標が指定されていない場合はマウスで範囲指定します。</p> <p>パス : 保存先のフルパスです。</p> <p>例 :</p> <pre>Screenpresso.exe -captureregion 0;0;640;480 Screenpresso.exe -captureregion -1;-1;-1;-1 screenpresso.exe -captureregion "C:\Users\ME\Desktop\test2.png" 0;0;640;480 screenpresso.exe -captureregion 0;0;640;480 "C:\Users\ME\Desktop\test3.png"</pre>
-capturevideo [パス] [座標] PRO 版でのみ利用できます。無料版では動画の長さに制限があり、ロゴが付きます。	<p>座標空間を指定して動画を撮り、指定したパスに保存します。</p> <p>座標 : Rectangle オブジェクトの座標空間での左上の点(x、y)、およびその幅と高さによって囲まれる座標空間内の領域を指定します。「X;Y;幅;高さ」の形式を使用し、例えば、「0;0;640;480」と入力します。</p> <p>全画面には「-1」を使用し、「-1;-1;-1;-1」と入力します。</p> <p>座標が指定されていない場合はマウスで範囲指定します。</p> <p>パス : 保存先のフルパスです。</p> <p>例 :</p> <pre>Screenpresso.exe -capturevideo 0;0;640;480 Screenpresso.exe -capturevideo -1;-1;-1;-1 screenpresso.exe -capturevideo "C:\Users\ME\Desktop\test2.png" 0;0;640;480 screenpresso.exe -capturevideo 0;0;640;480</pre>

	"C:\Users\ME\Desktop\test3.png"
-newinstance	起動中の Screenpresso を終了し、新たに再起動します。
-?	コマンドラインの引数を表示します。

4.6 アンインストール

Screenpresso は他のプログラム同様、Windows のコントロールパネルからアンインストールできます。



画像 3 : コントロールパネル (Windows 7)

4.5.章で紹介したように、コマンドライン「Screenpresso.exe /uninstall」でもアンインストールできます。

注 :

「Program Files」フォルダーからアンインストールするには管理者権限が必要です。

4.7 インストールせずに実行

Screenpresso はインストールしなくても screenpresso.exe から直接実行できます。たまにしか使わない、試しに使ってみたい、USB デバイスを使い複数のコンピューターで使いたい、といった場合に適しています。

screenpresso.exe を起動し、最初の画面で「実行」をクリックしてください。

USB デバイスから実行された場合にはインストールされず、コンピューター上にファイルは作成されません。キャプチャも含め、すべてのファイルが screenpresso.exe と同じフォルダーに保存されます。

撮影したスクリーンショットや動画を USB デバイスを通じ他のコンピューターでも共有できるのがメリットです。

4.8 プログラムフォルダー内のファイル

Screenpresso のプログラムフォルダーにある主なファイルです。

ファイル名	解説
Screenpresso.exe	実行ファイルです。
ScreenpressoCodec.dll	動画を撮影するためのコードです。
FFmpeg\ffmpeg.exe	動画変換のファイルです。詳しくは http://ffmpeg.org をご覧ください。
settings.xml	環境設定ファイルです。
fum.bin	Screenpresso で使用する内部ファイルです。
Template.docx	ドキュメント作成用の Word ファイルです。
\References	Screenpresso で使用する複数の DLL ファイルを保存したフォルダーです。インストールなど、必要な場面でしか使用されません。

「settings.xml」と「fum.bin」のファイルはユーザー固有のものなので、既定の保存先は以下になります。

C:\Users\<login> \AppData\Roaming\LearnPulse\Screenpresso

4.9 アップデート、新バージョン

Screenpresso は頻繁に新しいバージョンが作成されます。バージョンには以下の 2 種類があります。

- 1) 正式版
- 2) ベータ版

4.9.1 正式版

正式版がリリースされた場合には Screenpresso 起動時にポップアップが表示され、アップデートするかを問われます。

注：

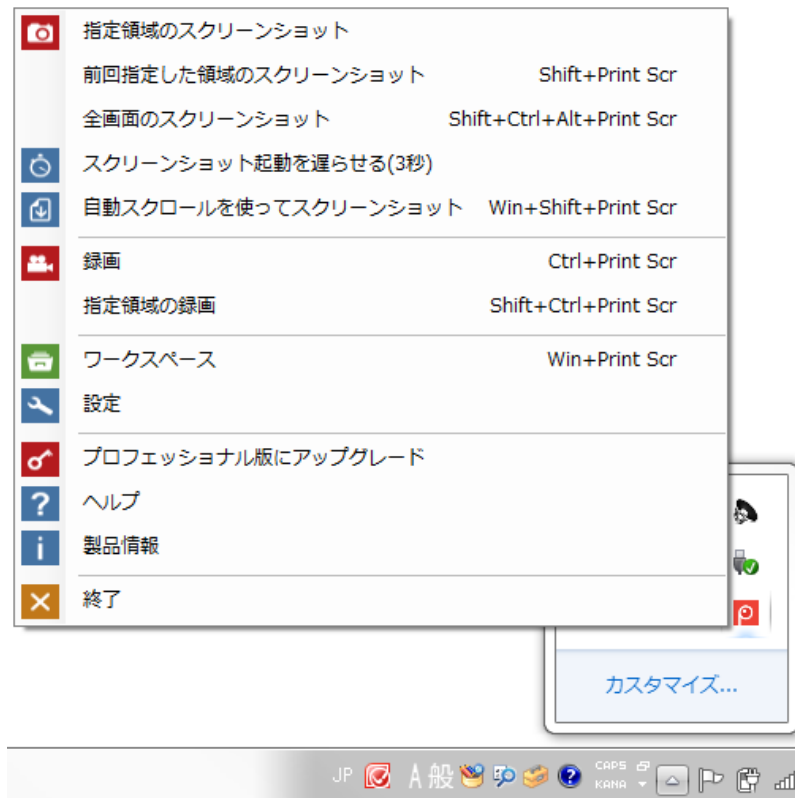
- 最新の正式版は公式サイトでもダウンロードできます。 <http://ja.screenpresso.com/download>
- 最新情報は公式サイトで確認できます。 <http://ja.screenpresso.com/releasenotes>
- アップデートの案内は最新版がリリースされてから間をおいて表示されます。それまでに手動でアップデートするには 4.9.3 章の手順に従ってください。
- 正式版がリリースされると、無料版のユーザーは強制的にアップデートされます。

4.9.2 ベータ版

次の正式版がリリースされる前段階でのバージョンです。バグ修正や新機能の追加がありますが、アップデートの案内は表示されないの、アップデートするには 4.9.3 章の手順に従ってください。

4.9.3 更新を確認

「製品情報」を開くと「更新を確認」というボタンがあります。クリックすると最新のプログラムがないかをチェックします。「製品情報」はシステムトレイのアイコンの右クリックメニューから開けます。

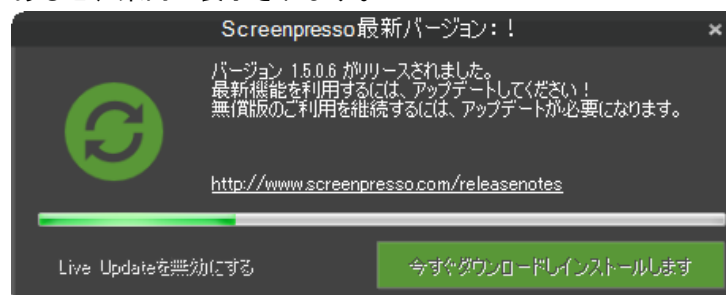


画像 4 : システムトレイの右クリックメニュー



画像 5 : 製品情報

新しいバージョンがあると、案内が表示されます。



画像 6 : アップデート

「今すぐダウンロードしインストールします」をクリックすると、最新版のインストールが開始されます。

4.10 企業での展開

Screenpresso は Microsoft System Management Server (SMS)などのバッチを使用して展開することもできます。

4.10.1 ライセンスキーを展開

Screenpresso PRO には複数のライセンスが含まれた**単一のライセンスキー**があります。

ライセンスキーの展開方法は 2 つあります。

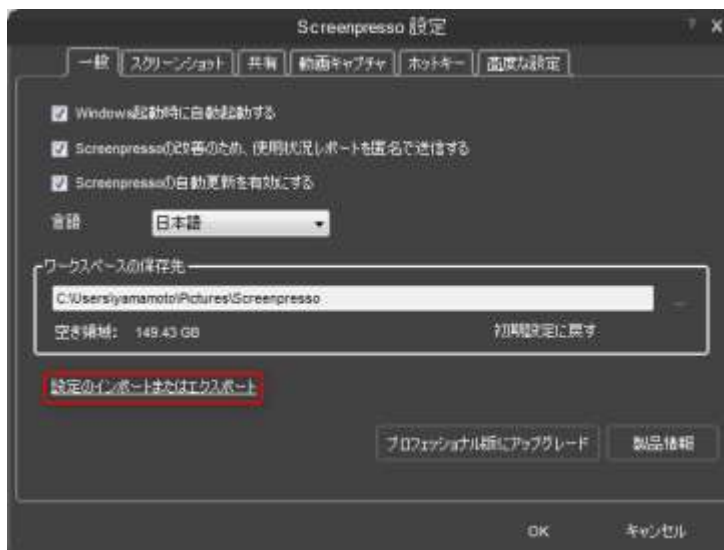
テキストファイルを使用 (ボリュームライセンスのみ)

- ライセンスキーを含んだ「activation.lic」というテキストファイルを Screenpresso.exe と同じフォルダーに保存してください。

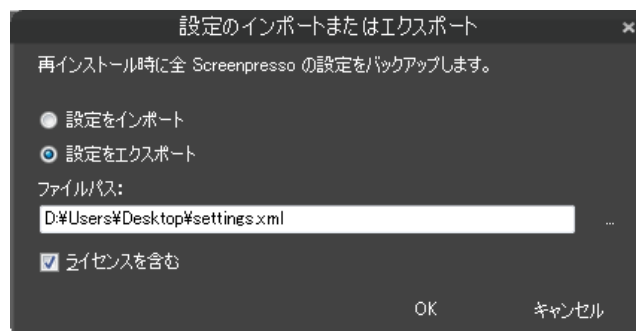
設定.xml ファイルを使用

- Screenpresso を使用するコンピューターにインストール
- ライセンスキーを入力
- 展開用の設定を確定
- 設定ファイルをエクスポート

- 1) 設定画面を開く
- 2) 「一般」タブの「設定のインポートまたはエクスポート」をクリック



- 3) 「設定をエクスポート」を選択し、パスを入力してください。ファイル名は「settings.xml」としてください。



- 4) 「settings.xml」ファイルを Screenpresso.exe と同じフォルダーに保存してください。

4.10.2 バイナリ（並びにすべてのファイル）を展開

以下のファイルを展開する必要があります。

- Screenpresso.exe（必須）
- activation.lic
- settings.xml
- ffmpeg.exe, convert.exe, vcomp100.dll
- ScreenpressoHelp.pdf

以下の手順に従ってください。

- 1) ターゲットのコンピューター上で「c:\temp\%」などの一時フォルダーに以下のファイルを展開してください
 - c:\temp\Screenpresso.exe（必須）
 - c:\temp\activation.lic
 - c:\temp\settings.xml
 - c:\temp\ScreenpressoHelp.pdf
 - c:\temp\ffmpeg.exe, convert.exe, vcomp100.dll

- 2) 次に **program files** において Screenpresso をインストールするための以下のコマンドを**管理者権限**で実行してください。

C:\temp\screenpresso.exe /install pf /silent

このコマンドにより Screenpresso と 1)で選択したすべてのファイルが以下のフォルダーにインストールされます。

C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso

コマンドラインの詳細については 4.5 章を参照してください。

- 3) 1)の操作をしなかった場合、ライセンスキーを手動で展開することもできます。詳しくは 4.10.1 章を参照してください。

- **C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso\activation.lic**

または

C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso\settings.xml

- 4) 1)の操作をしなかった場合、設定を手動で展開することもできます。

C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso\settings.xml

- 5) 1)の操作をしなかった場合、ユーザーマニュアルを手動で展開することもできます。

C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso\ScreenpressoHelp.pdf

注：

- Screenpresso で撮影したスクリーンショットや動画を保存するフォルダーを変更するには、「settings.xml」ファイルの「TempFolderScreenShots」を以下のような変数を使用して変更ください。
 - %Personal%
 - %MyDocuments%
 - %MyPictures%
 - %Desktop%
 - %DesktopDirectory%
 - %ApplicationData%
 - %CommonApplicationData%
 - %LocalApplicationData%

- 6) 動画キャプチャ使用時に、動画変換に使用するためのサードパーティ製ソフトウェア (FFmpeg) が自動ダウンロードされます。もし、自動ダウンロードされない場合は下記の URL からダウンロードしてください。

(https://www.screenpresso.com/binaries/ffmpeg32_20161209.zip)

ダウンロードしたファイルは Screenpresso.exe の保存されているフォルダーに保存してください。パスは下記ようになります。

C:\Program Files\Learnpulse\Screenpresso\ffmpeg.exe

4.10.3 ポリシーと初期設定 (PRO ユーザーのみ)

PRO ユーザーは Windows のレジストリを利用して初期設定を変更することもできます。サンプルレジストリファイルの作成については 4.5 章を参照してください。

データの保存先は以下になります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\LearnPulse\Screenpresso\Policies

[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\LearnPulse\Screenpresso\Policies]

"NoRoaming"=dword:00000001

"NoUpdate"=dword:00000001

"NoSharing"=dword:00000001

"NoVideo"=dword:00000001

"NoInstall"=dword:00000001

"NoStats"=dword:00000001

NoRoaming: set it to 1 for all files to be saved in local AppData folder instead of Roaming AppData

NoUpdate: set it to 1 to disable the automatic update of Screenpresso

NoSharing: set it to 1 to disable the sharing capabilities

NoVideo: set it to 1 to disable the video capture feature. In that case, you don't need to provide ffmpeg.exe

NoInstall: set it to 1 to disallow the user to install the software himself

NoStats: set it to 1 to disable the anonymous statistics reporting feature by the user

5 ライセンス

5.1 ライセンス認証

Screenpresso PRO のライセンスを購入すると、E メールでライセンスキーが送付されます。

無料版をインストールし、そのライセンスキーを以下の手順で認証してください。

注：

- ライセンス認証にはインターネット接続が必要です。
- プログラムは最新のバージョンをご利用ください。アップデートに関しては 4.9.3 章を参照してください。

Screenpresso のアイコンを右クリックして「プロフェッショナル版にアップグレード」を選択してください。



[0]-[screenpressopro]-[1]-[1234455]-[12/18/2011]-[Rstvaei yz onveozienvoziengsdovsodpdovpsodvispovispodvispodivspodivspovispdoig==]

有効なライセンスであれば、無料版からプロフェッショナル版にアップグレードされ、無料版の制限がなくなります。

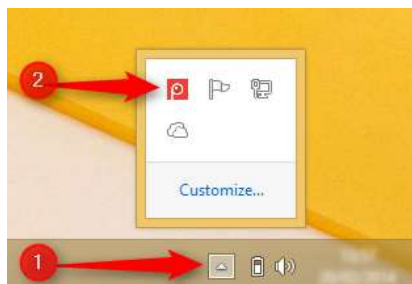
ご利用のコンピューターを変更する場合など、同じライセンスキーで異なるコンピューターに使用することもできます。1人のユーザーにつき5台まで使用できますが、ライセンスの解除はできません。

ライセンスを紛失された場合は、以下のページに購入時に使用したメールアドレスを入力し、送信してください。 <http://www.screenpresso.com/retrieve>

6 Screenpresso の主な機能

6.1 即座に使用

Screenpresso 起動時にはシステムトレイにアイコンが表示されます。



この状態で以下の操作ができます。

- アイコンをクリック(左クリック)すると、Screenpresso のメイン画面であるワークスペースが開かれます。
- 右クリックすると右クリックメニューが表示されます。
- ホットキーを押すと、各操作ができます。例えば、初期設定では「PrintScreen」でスクリーンショットを撮影できます。ホットキーに関しては 6.5 章を参照してください。

Screenpresso は初期設定のインストール方法だと、スタートアップ時に起動します。インストールに関しては 4.3章、Screenpresso をスタートアップ時に起動させたくない場合は 15 章を参照してください。

6.2 ファイルの保存先について

Screenpresso ではファイルの保存先が自動的に定められます。

初期設定では以下の保存先になります。

フォルダー	備考
ピクチャ\Screenpresso (C:\Users\<アカウント名>\Pictures\Screenpresso)	Screenpresso で撮影したスクリーンショットや動画が保存されるフォルダーです。
ピクチャ\Screenpresso\Originals	変更しないことをお勧めします。
ピクチャ\Screenpresso\Thumbnails	変更しないことをお勧めします。

注：

- Screenpresso は古いファイルを自動的に削除します。詳しくは Error! Reference source not found. 章を参照してください。
- 保存先の変更は Error! Reference source not found. 章を参照してください。
- ワークスペースのご利用方法は 7 章を参照してください。

6.3 ワークスペース

Screenpresso は撮影したスクリーンショットや動画をメイン画面のワークスペースで管理します。



画像 9 : Screenpresso ワークスペース

この画面では以下の操作ができます。

- キャプチャの撮影
- キャプチャの編集
- キャプチャのコピー
- ドキュメントの作成（ユーザーガイドなど）
- 他の保存先へ（から）ファイルをドラッグアンドドロップで移動
- Dropbox, Google Drive, Evernote, Email, などでファイルを公開/共有

6.4 ファイルの形式

初期設定ではスクリーンショットが PNG で撮影されます。

動画の初期設定は MP4 です。

ドキュメントの初期設定は PDF です。

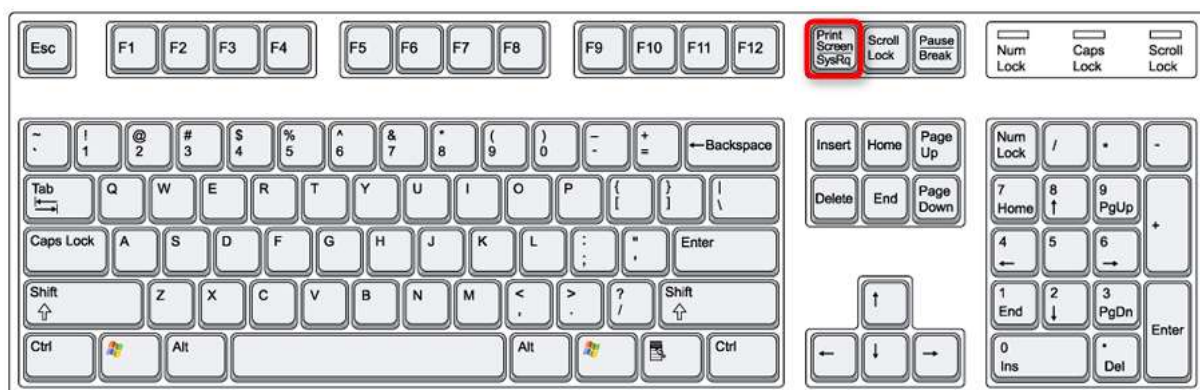
形式の変更に関しては **Error! Reference source not found.**章を参照してください。

6.5 ホットキー

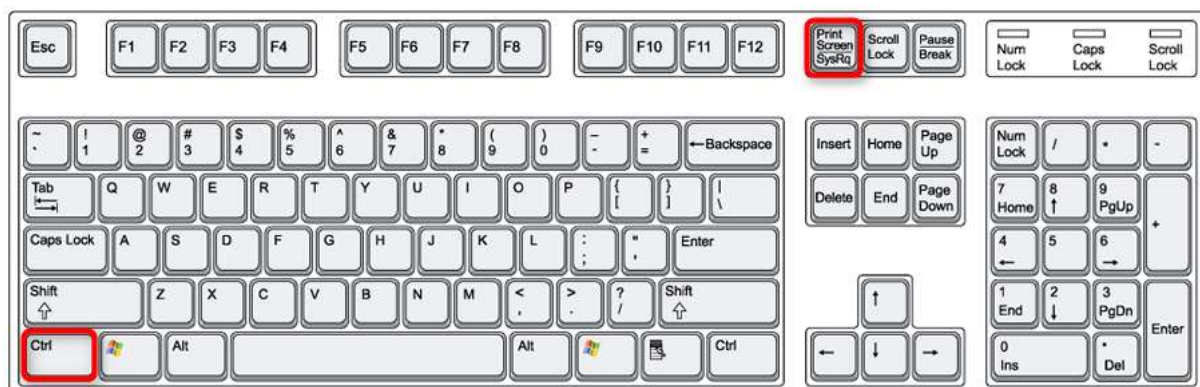
Screenpresso 起動時にはホットキーが作動します。

6.5.1 主なホットキー

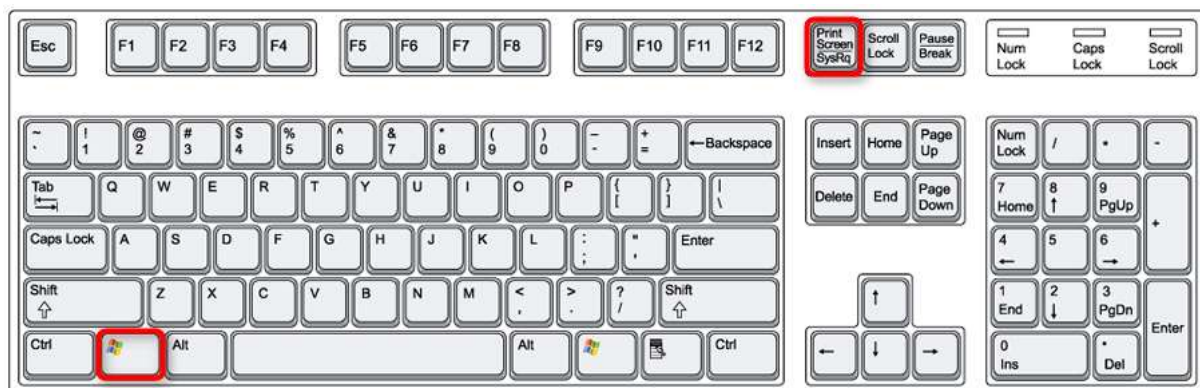
スクリーンショット（全画面、範囲指定、ウィンドウ、スクロール画面）：[Print screen]



動画（全画面、範囲指定、初期設定の範囲）：[Ctrl] + [Print screen]

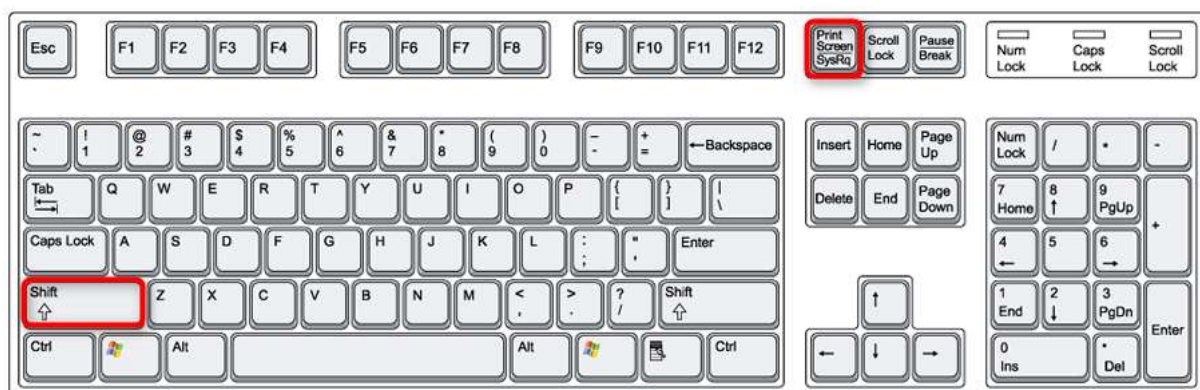


ワークスペースを開く：[Win] + [Print screen]

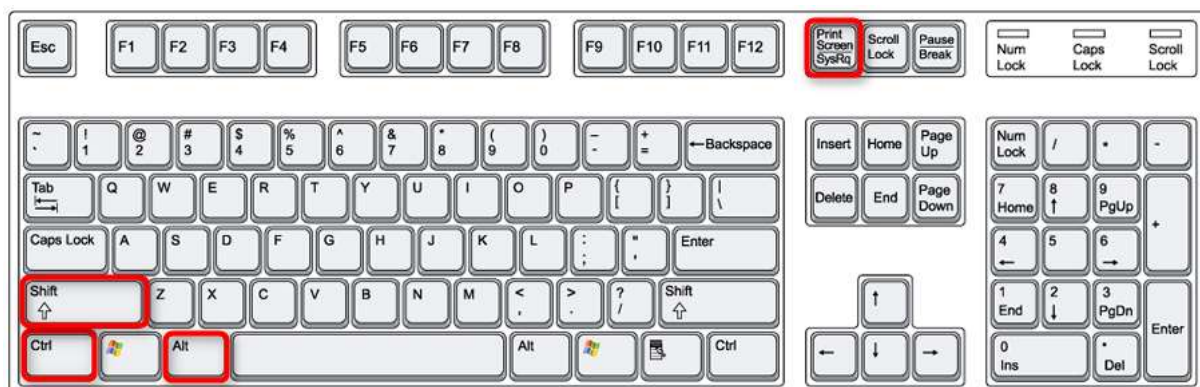


6.5.2 その他のホットキー

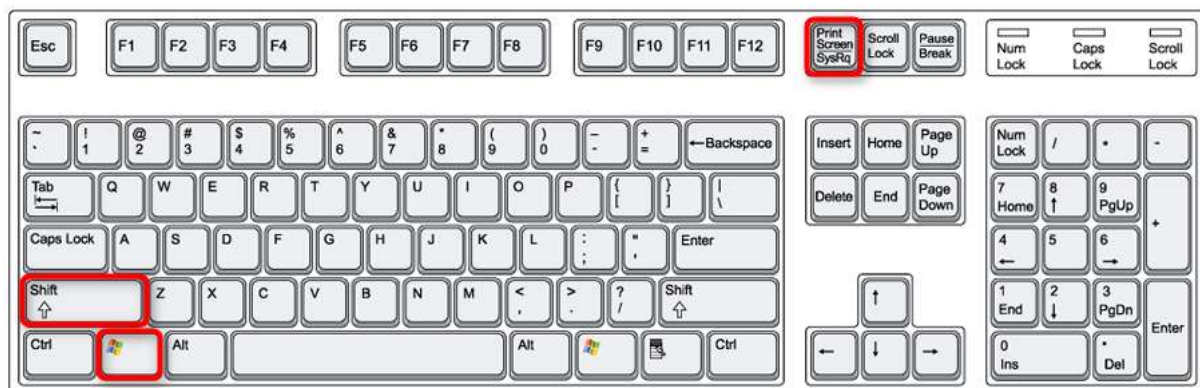
前回と同じ範囲のスクリーンショット：[Shift] + [Print screen]



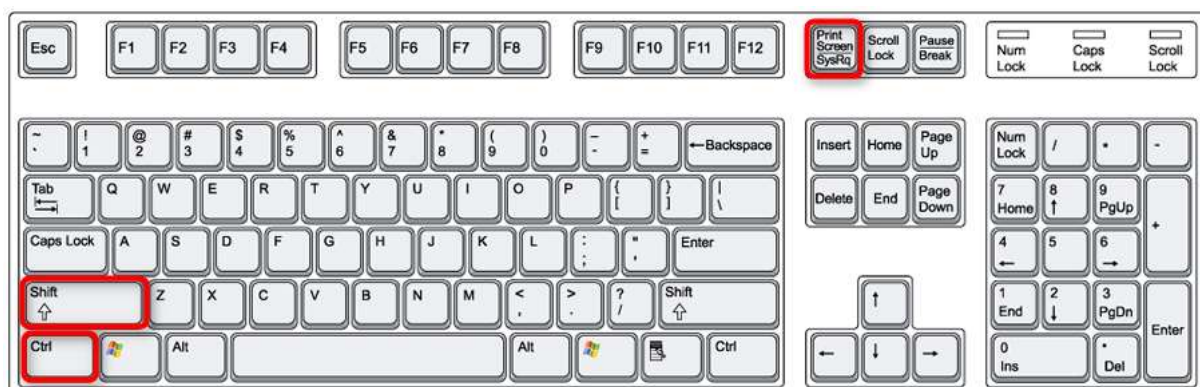
全画面のスクリーンショット : [Ctrl] + [Alt] + [Shift] + [Print screen]



スクロール画面のスクリーンショット : [Win] + [Shift] + [Print screen]



動画（新規範囲指定） : [Ctrl] + [Shift] + [Print screen]

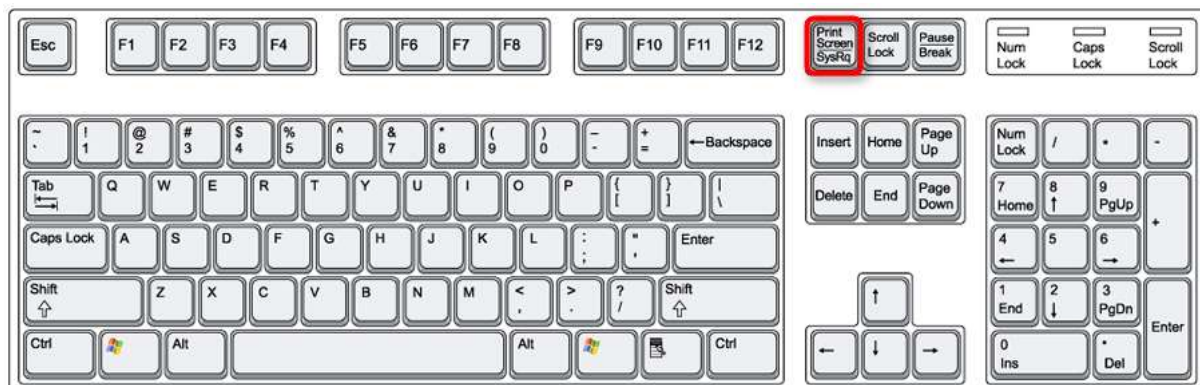


ホットキーの変更は [Error! Reference source not found.](#)章を参照してください。

7 スクリーンショット

7.1 撮影

[Print screen]キーでスクリーンショットが撮れます。



画像 10 : スクリーンショット撮影のホットキー




あるいは、アイコンの右クリックメニューやメイン画面の「キャプチャ」からでも実行できます。



画像 11 : ワークスペースからスクリーンショットを撮影

コマンドラインからも撮影できます。詳しくは 4.5 章を参照してください。

全画面、範囲指定、ウィンドウ、スクロール画面のスクリーンショットが撮影できます。

- キャプチャを開始すると画面が静止し、マウスカーソルが十字の線になります。撮影を中止するには  キーを押してください。
-  キーを押すとカーソルを表示することができ、また、何度も押すことでカーソルの大きさを変更することができます。
-  キーを押すと透かしの有効/無効を切り替えることができます。どちらの状態であるかは画面左下で確認できます。

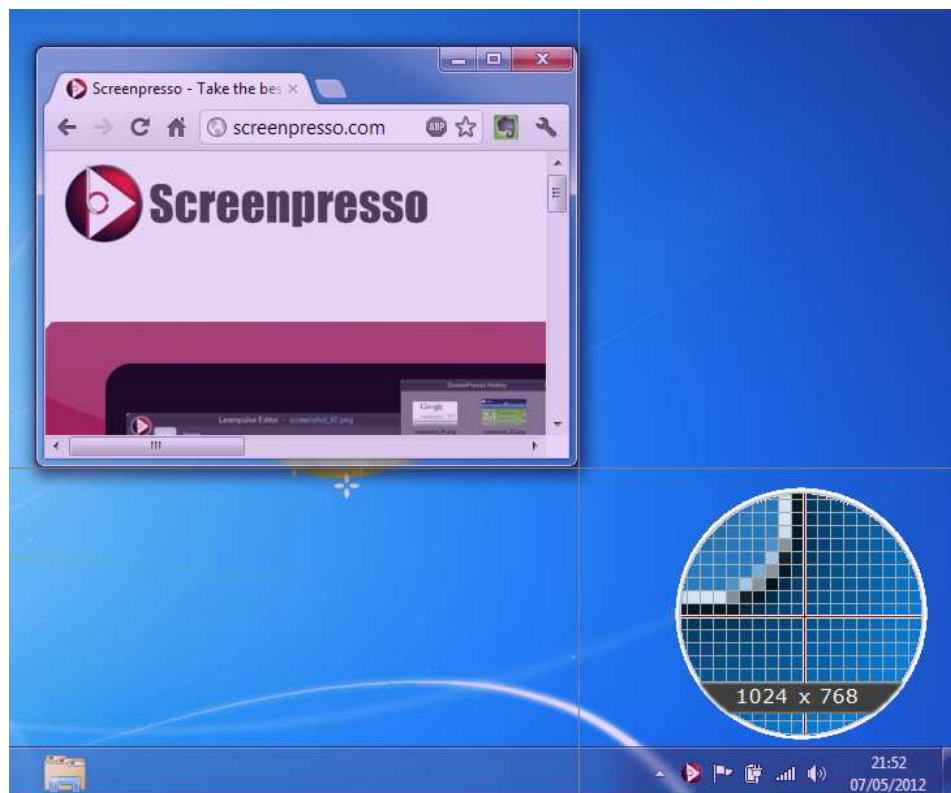


画像 12 : Watermark indicator

- カーソルを動かすことで以下のことが確認できます。
 - 撮影対象が赤く表示されます。
 - 撮影するウィンドウがスクロールできる画面である場合、下向の赤い矢印が表示されます。
 - マウスを静止、あるいはゆっくり動かすと、虫眼鏡が表示され、マウスの置かれている場所（十字線の真ん中）が拡大されます。また、撮影範囲の大きさがピクセルで表示されます。



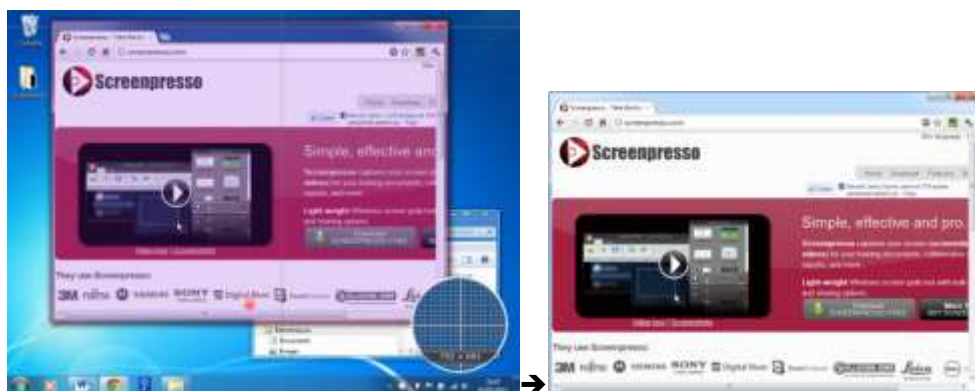
画像 13 : ウィンドウが赤くなり、下向の矢印が表示されている状態



画像 14 : 虫眼鏡が表示されている状態



- 範囲の指定は矢印キーでも調整できます。
- 指定範囲が赤くなるので、その状態で左クリックすると撮影できます。
 - 基本的にこの方法でウィンドウや設定された範囲を撮影できます。



- 全画面の撮影：マウスを画面の上に移動すると、画面全体が赤くなりますので、その状態で左クリックすると全画面を撮影できます。
- 特定の範囲を指定
 - マウスを撮影したい範囲のどれかの角に移動
 - 左クリックしたまま離さない
 - クリックした角の対角へマウスを移動
 - 対角でクリックを解除

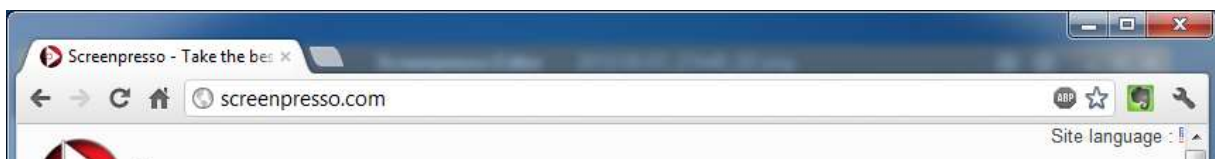


- スクロールする画面の撮影：下向の赤い矢印をクリックしてください。



注：

- Windows Vista 以降ではウィンドウの端が半透明になっている場合、自動的に透明でなくなります。（この機能は設定変更で無効化できます。[Error! Reference source not found.章](#)を参照してください）



画像 15：半透明になっていると背面が少し見えます。



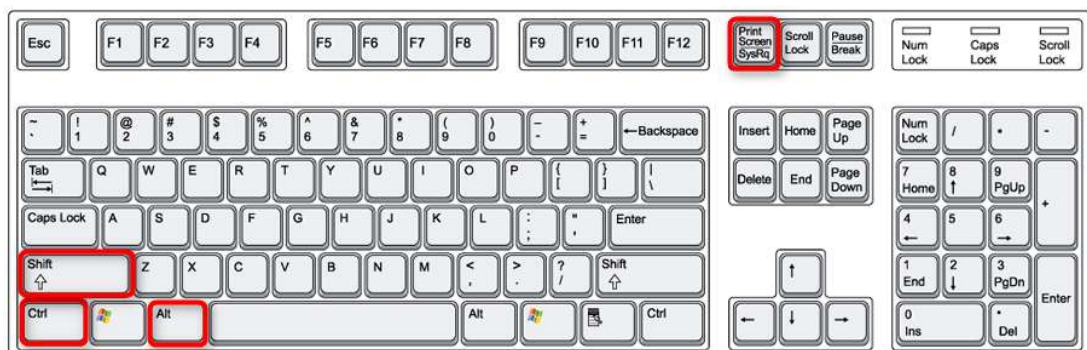
画像 16：この透明がなくなります（初期設定）

- マウスカーソルも撮影する設定もできます。[Error! Reference source not found.章](#)を参照してください。

7.2 全画面スクリーンショット

全画面のスクリーンショットを撮影する方法は数種類あります。

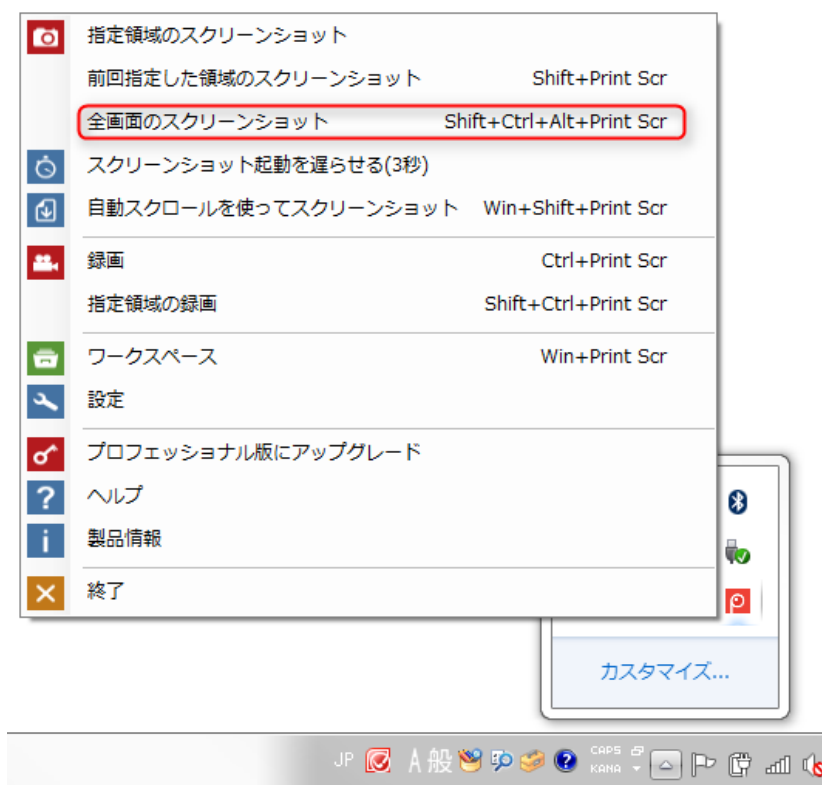
1. 指定範囲のスクリーンショットで全画面を指定（7.1 章を参照してください）
2. ホットキー「Ctrl + Alt + Shift + Print screen」



3. ワークスペースを開き「キャプチャ」をクリック。それから、「指定範囲のスクリーンショット」の右にある下向の矢印をクリックし、「全画面のスクリーンショット」を選択。



4. システムトレイのアイコンを右クリックし、「全画面のスクリーンショット」を選択。



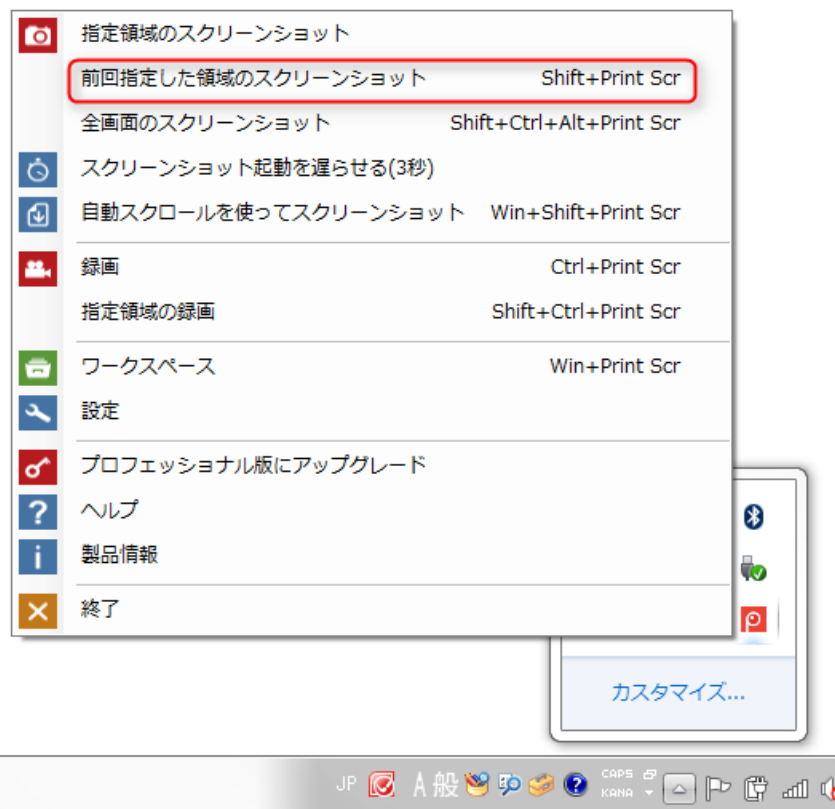
7.3 前回指定した領域のスクリーンショット

前回指定した領域のスクリーンショットを撮影する方法は数種類あります。

1. ホットキー「Shift + Print screen」



2. ワークスペースを開き「キャプチャ」をクリック。それから、「指定範囲のスクリーンショット」の右にある下向の矢印をクリックし、「前回指定した領域のスクリーンショット」を選択。
3. システムトレイのアイコンを右クリックし、「前回指定した領域のスクリーンショット」を選択。



同じ領域を繰り返し撮影する場合に便利です。

7.4 スクロールする画面のスクリーンショット

ウェブサイトの画面など、スクロールバーがついていて、一度にすべてが表示されない場合があります。



Screenpresso はそのような画面でも全体を撮影することができます。



7.4.1 自動スクロールキャプチャ

7.1 章を参照してください。

注：

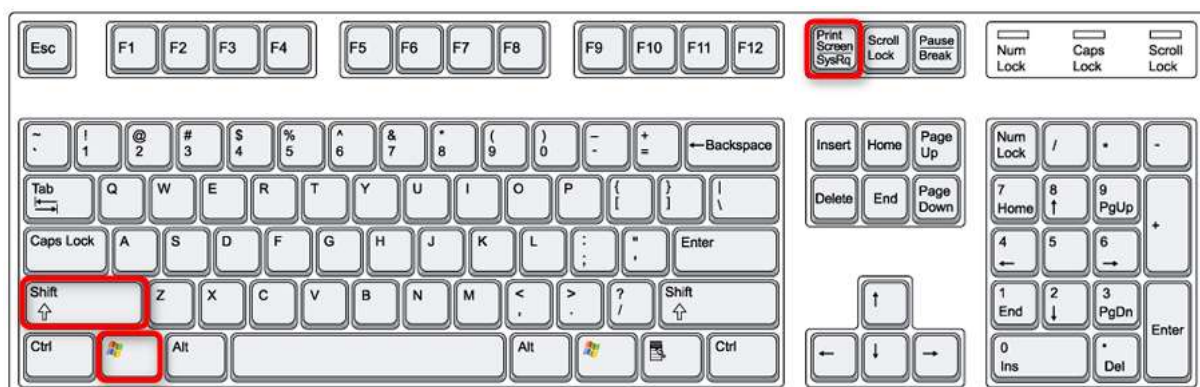
- スクロール画面を撮影する前にスクロールバーを一番上の位置に置いてください。
- 縦向きのスクロールバーには対応していますが、横向きには対応していません。

7.4.2 手動スクロールキャプチャ

自動スクロールキャプチャが使えない場合は、手動スクロールキャプチャで複数のスクリーンショットを撮影し、結合してください。

手動スクロールキャプチャの方法は数種類あります。

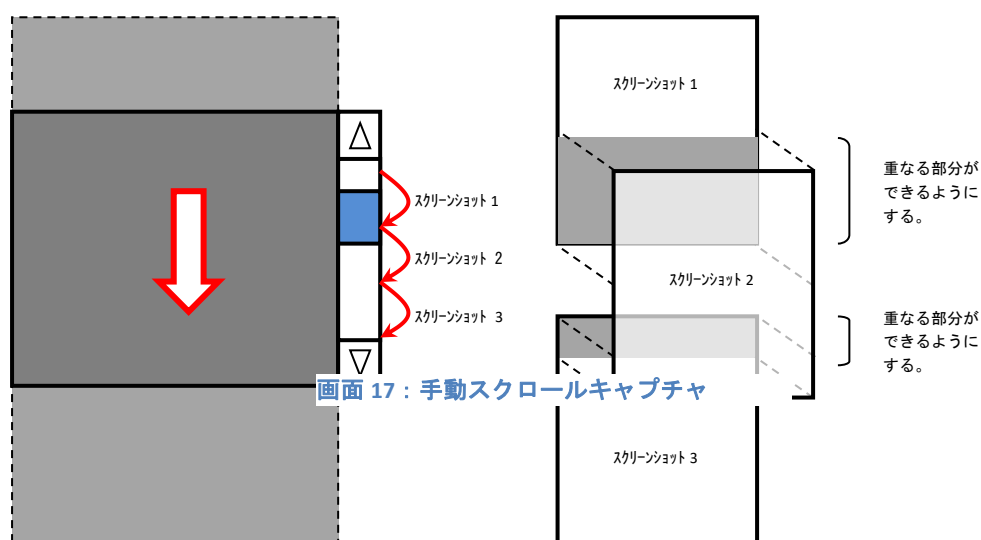
1. ホットキー「Win + Shift + Print screen」



- ワークスペースを開き「キャプチャ」をクリック。それから、「指定範囲のスクリーンショット」の右にある下向の矢印をクリックし、「スクロールする画面のスクリーンショット」を選択。
- システムトレイのアイコンを右クリックし、「スクロールする画面のスクリーンショット」を選択。

撮影方法を説明する画面が開かれます。

- 1- スクロールバーを含めず、実際にスクロールする部分だけを選択してください。
- 2- スクロールバーを左クリックして下にずらし、次の画面が表示されたところで解放してください。その際、前の画面と少し重なる部分ができるようにしてください。左クリックが解放されるたびにスクリーンショットが撮影されます。



画面 18 : 手動スクロールキャプチャの手順

注：

- チュートリアルもご覧ください。
<http://www.youtube.com/watch?v=pssN7gWXfVs>

7.5 スクリーンショット撮影の流れ

スクリーンショット撮影の流れは以下になります。点線の部分はオプションです。



注：

- スクリーンショットに署名や会社名などを付けたい場合は「すかし」をご利用ください。設定方法に関しては **Error! Reference source not found.**章を参照してください。
- ファイル名が自動的につけられますが、設定に関しては **Error! Reference source not found.**章を照してください。
- 初期設定では PNG 形式で保存されます。JPG, GIF, BMP,TIF にも変更できますので、**Error! Reference source not found.**章を参照してください。
- クリップボードの内容も変更できます。12 章を参照してください。

- その他にも様々な設定がありますので、**Error! Reference source not found.**章を参照してください。
- ウェブページの URL など、スクリーンショットのプロパティも保存できます。初期設定では無効になっています。
- スクリーンショットの解像度はディスプレイの解像度によって異なりますが、初期設定では 96DPI となっています。

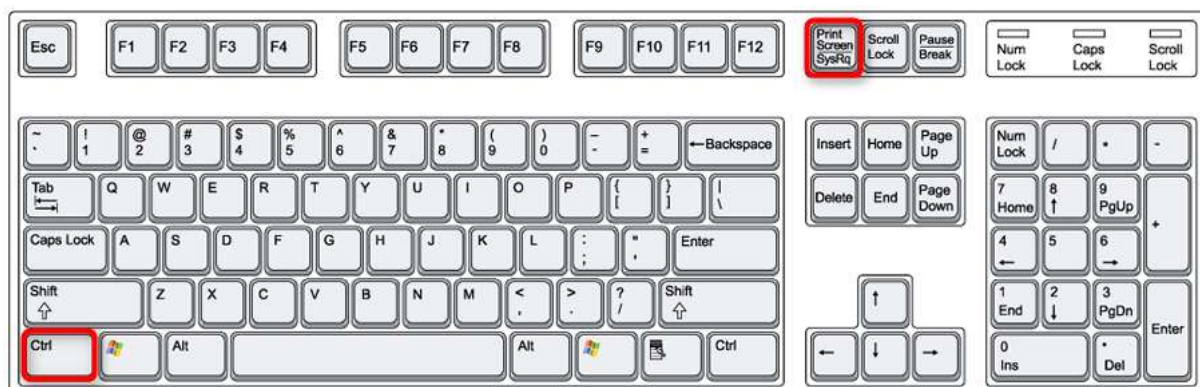
8 動画

8.1 録画

Screenpresso では画面の録画とマイクからの音声録音ができます。
デモやチュートリアル撮影、エラーレポート作成などに利用できます。

動画の録画方法はいくつかあります。

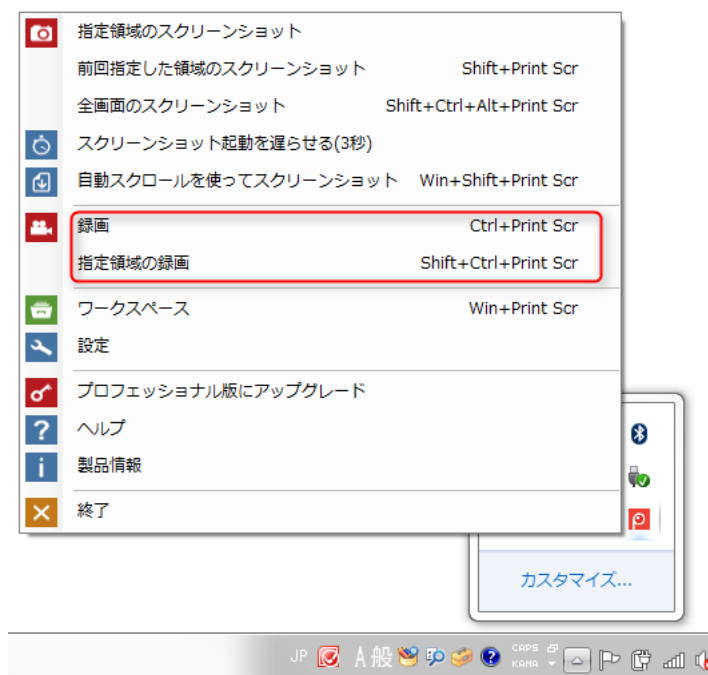
1. ホットキー「Ctrl + Print screen」



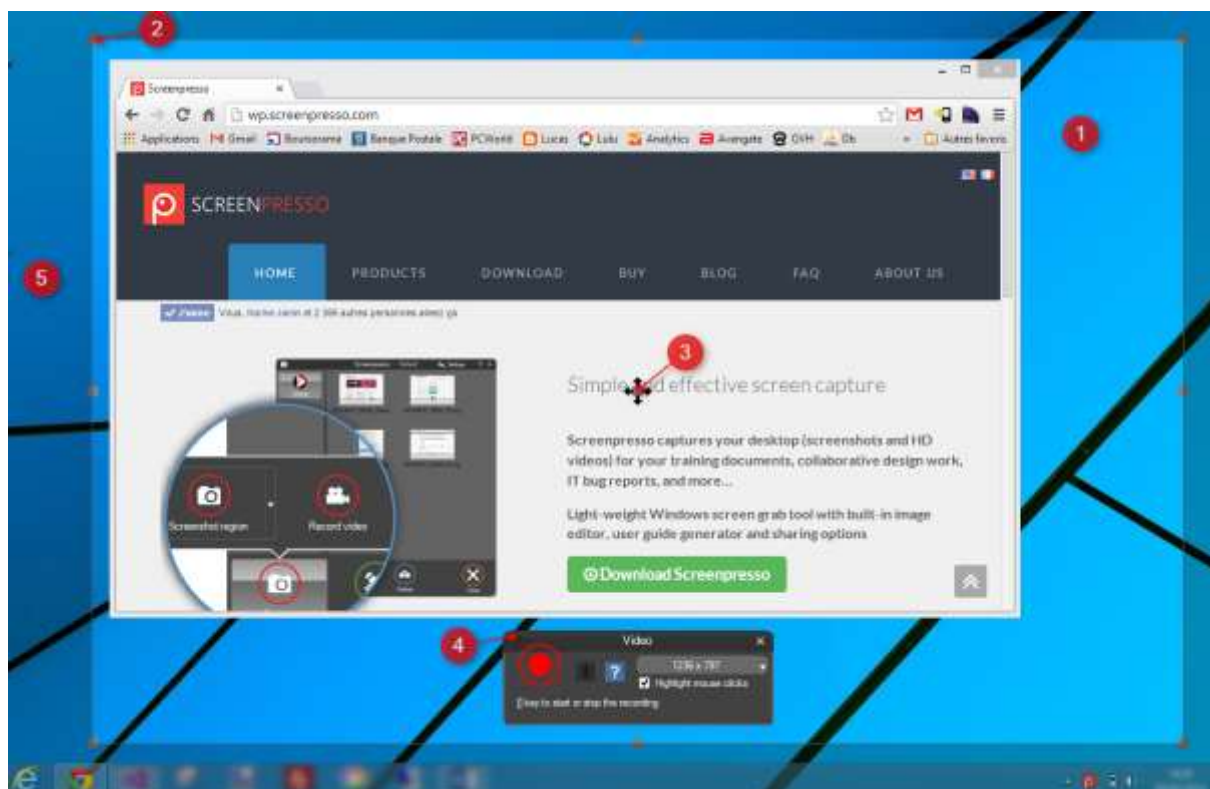
2. ワークスペースを開き「キャプチャ」をクリック。それから、「録画」をクリック。



3. システムトレイのアイコンを右クリックし、「録画」あるいは「指定範囲の録画」を選択。



4. コマンドライン「Screenpresso.exe /capturevideo」を使用。詳しくは 4.5 章を参照してください。録画範囲外の部分は暗くなり、変更することもできます。また、録画用のツールバーが表示され、録画に関する設定ができます。



- 1) 明るい部分が録画範囲となり、この部分の動画が撮影されます。
- 2) 四隅と四辺の真ん中にある四角を動かして録画範囲を変更することができます。
- 3) ここをクリックして動かすと、録画範囲のサイズを維持したまま場所だけずらすことができます。

- 4) 録画用のツールバー
- 5) 録画されない範囲で、暗くなっています。

注：

- Screenpresso ではスクリーンキャプチャに最適な独自のコーデックが使用されています。まず、AVI 形式で録画され、その後 MP4 などの標準的な形式に変換されます。
- 特定の録画範囲に対応していないコーデックもあるので、コーデックは変更しないことをお勧めします。

8.2 録画用ツールバー



- 1) 録画開始
- 2) マイクからの録音の有効/無効を切り替え
- 3) ヘルプ
- 4) 動画のサイズ（高さ×幅：ピクセル）
- 5) 動画のサイズを変更
（後でサイズ変更をすると映像が不鮮明となる場合があるため、標準のサイズをお勧めします）
- 6) 録画中にマウスの表示効果を変更

左クリックの瞬間：



右クリックの瞬間：



カーソルを黄色の丸で表示する設定もできます。：

**注：**

- 設定の詳細は **Error! Reference source not found.**章を参照してください。

8.3 録音

マイクからの音声を録画するかしないかを切り替えることができます。

Screenpresso は Windows のエンジンに基づいており、マイクからの音声録画に完全対応しています。まず、ミキサーでマイクの入力設定と音量調整をしてください。

注：

- 長時間録音する場合は、事前に短時間の録画を行い音量を確認することをお勧めします。

- 録画用のツールバーでマイクからの録音が有効になっていることを確認してください。



8.4 ウェブカメラ

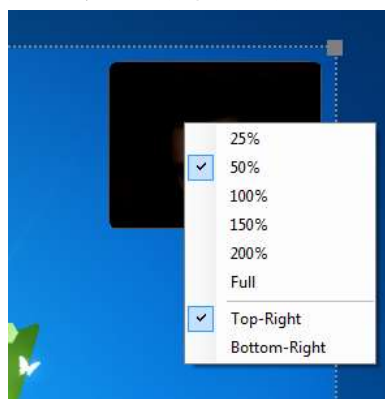
Screenpresso ではウェブカメラからの入力画像も録画できます。



ウェブカメラを起動し、「Win + F7」キーを押してください。ウェブカメラが表示中に同じキーを押すと非表示になります。

この操作は録画中に使用できるので、簡単に切り替えることができます。

ウェブカメラのウィンドウを右クリックするとウィンドウサイズや位置を変更できます。



注：

- ウェブカメラ録画の設定は録画を開始する前からできます。サイズや位置を変更し、非表示にしてから録画を開始することもできます。録画を開始し、ウェブカメラを表示すれば、設定した正しい位置に正しいサイズで表示されます。
- また、録画用に初期化の処理もされるので、事前に一度ウェブカメラのウィンドウを表示したほうがスムーズになります。

8.5 ズーム

録画中にズーム(x2)やマウスの周りをフォーカスすることができます。ホットキー[Win] + [F8]を使用してください。

[Win] + [F8]キーはズームのオン/オフを切り替ええます。

ズームがオンになっている間もマウスは表示できます。ズームされている箇所は四角で表示されます。



画面 20 : Video zoom box

8.6 録画開始

赤丸のボタンをクリックすると録画が開始されます。



録画の一時停止はホットキー[Ctrl] + [Print Screen]を使用するか、システムトレイアイコンの右クリックメニューから実行できます。

録画の停止はホットキー[Print Screen] key システムトレイアイコンの右クリックメニューから実行できます。

注：「録画モードを終了」を選択すると、録画を保存せずに終了します。

録画が完了すると、Screenpresso 内蔵のプレーヤーで再生されます。

注：

- AVI 形式の上限サイズは 2GB です。上限を超えると自動的にファイルが分割されるため、別途動画編集ソフトを使用して結合しなければなりません。

8.7 録画の流れ

-ホットキー[Ctrl] + [Printscreen]

-ワークスペース→キャプチャ→録画

-システムトレイアイコンの右クリック→録画

録画範囲を指定

録画開始ボタンをクリック

ウェブカメラを表示/非表示(Win + F7)

画面の一部をズーム(Win + F8)

録画の停止

-ホットキー[Printscreen]

-システムトレイアイコンの右クリック→停止

録画が完了すると、Screenpresso 内蔵の
プレーヤーで再生開始

「保存」をクリック

動画を MP4 に変換

ワークスペースが開く

ワークスペースが
閉じられる。

他の場所に貼り付け、共有、移動（メ
ール、フォルダー、SNS など）

8.8 Screenpresso メディアプレーヤー



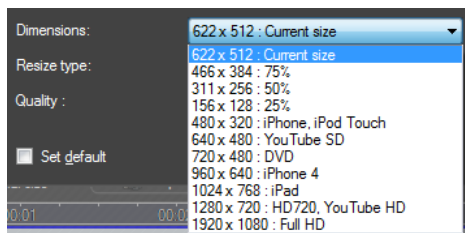
- 1) 再生画面
- 2) 再生設定：動画のサイズが元のままの場合はチェックを入れ、変更されている場合は外してください。再生画面のサイズに合わせるために設定する必要があります。
- 3) 再生されている瞬間のコマの画像がエクスポートされ、ワークスペースに保存されます。
- 4) 動画のファイル形式とサイズ、画質を設定できます。
- 5) タイムライン上のカーソルで、コマの位置を移動することができます。
- 6) 再生/一時停止
- 7) プレーヤーを終了
- 8) 動画全体の再生時間と現在の再生時間が表示されます。

「保存」をクリックすると、動画が保存されます。また、自動的にフォーマットが変換され、初期設定では MP4 (H264 video + AAC audio)形式になります。

ファイルの形式は MP4, GIF, WMV, OGV, WEBM に変更できます。またサイズを変更することもできます。



- 1) ファイル形式を選択します: MP4, WMV, OGV または WEBM から選択できます。MP4 を推奨します。
- 2) 出力する動画のサイズを選択してください。



- 3) サイズの変更方法を選択します。
 - a. 最大値にする: 動画をターゲットのサイズの縦横どちらかの最大値に合わせます。オリジナルの動画が目的の動画のサイズより小さい場合、画面を引き延ばすことで動画のサイズを一致させます。
 - b. 最大値: ターゲットのサイズより元の動画のサイズの方が小さい場合は元のサイズ以上にはできません。
 - c. ターゲットのサイズに合わせる: ターゲットに合うようにサイズを変更します。縦横比を維持するため、黒帯が追加されることがあります。

例 : 622×512 ピクセルの動画を 960×640 ピクセルに変更するよう選択した場合。

- 最大値にする: 778×640 ピクセルで出力されます。
- 最大: 622×512 ピクセルで出力されます。
- ターゲットのサイズに合わせる: 960×640 ピクセルで出力されます。

- 4) 圧縮時の動画の品質を選択できます。
- 5) 設定をデフォルトにする場合にチェックを入れてください。

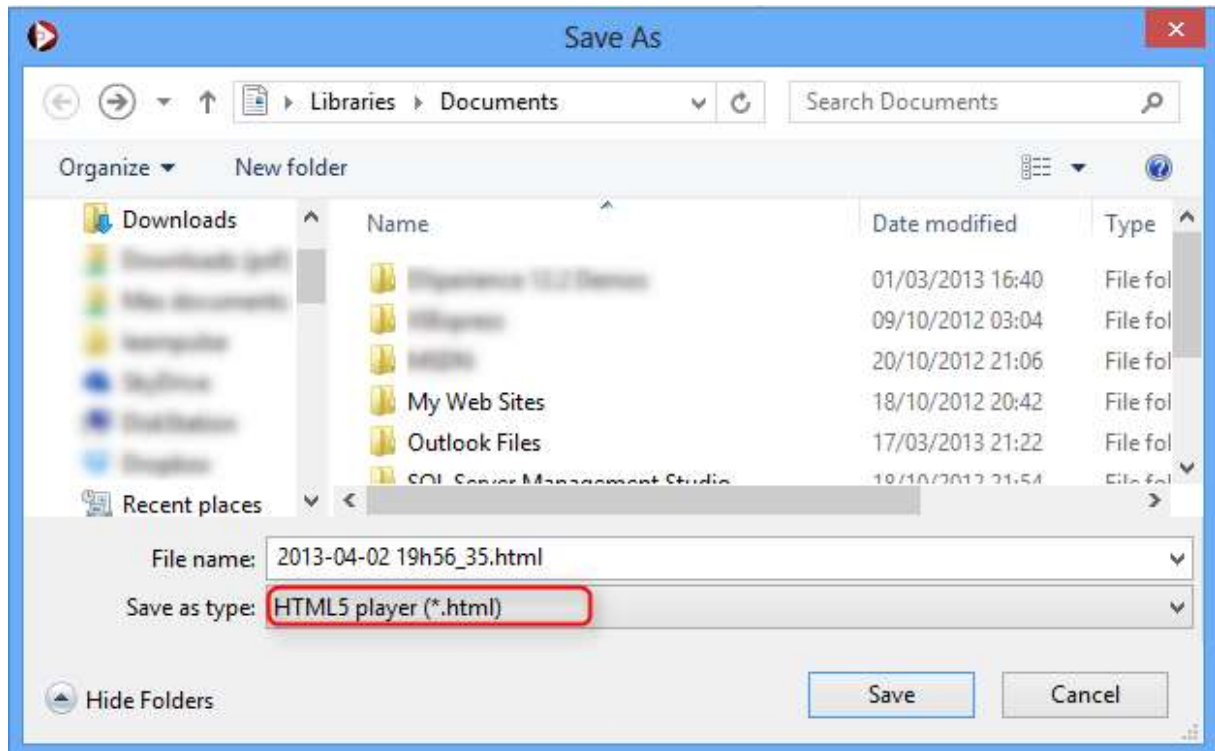
重要:

- 動画変換には **FFmpeg** というサードパーティ製ソフトが必要です。最初の変換時にダウンロードするように案内が表示されますので、案内に従ってダウンロードしてください。
- Screenpresso は独自技術で動画を AVI フォーマットでキャプチャしてから MP4 フォーマットに変換します。キャプチャ時のコーデックは項目別に設定することができます。

8.9 動画のフォーマット変換

録画された元データは Screenpresso フォルダー内に保存されており、いつでもフォーマットを変更することができます。

HTML ウェブページを作成することもできます。Screenpresso のワークスペース内でファイルを右クリックで選択し、「別名で保存」を選んでファイル形式を HTML に設定して保存してください。



全ての動画や画像の含まれたフォルダーと HTML ファイルが生成されます。HTML ファイルをブラウザで開くと、ブラウザ上で動画を見ることができます。

8.10 Screenpresso の機能について

Screenpresso のビデオコーデックはデスクトップ画面上で最適に動作するように設定されています。AVI スタンドアードの上限録画容量は 2GB です。録画中に容量が上限に達した場合は、複数の AVI ファイルが生成されます。複数のファイルを結合する場合は市販の動画編集ソフトを使用してください。

Screenpresso のオンライン FAQ をご参照ください: <http://www.screenpresso.com/faq>

9 ワークスペース

9.1 概要

ワークスペースとは下記いずれかの操作をおこなって起動する Screenpresso のメイン画面です:

- Screenpresso を開始
- [Win] + [Print Screen]のホットキー操作

- システムトレイ（通常画面右下）にある Screenpresso を左クリック。
- キャプチャ完了時（起動しない設定も選択可能）
- Screenpresso 起動中に再度 Screenpresso を立ち上げる操作を行った場合

ワークスペースには Screenpresso でキャプチャされた全ての画像、動画が表示されます。（6.2 項を参照してください）同様に、いくつかの操作ボタンも表示されます。

メイン画面:



画面 21: ワークスペース

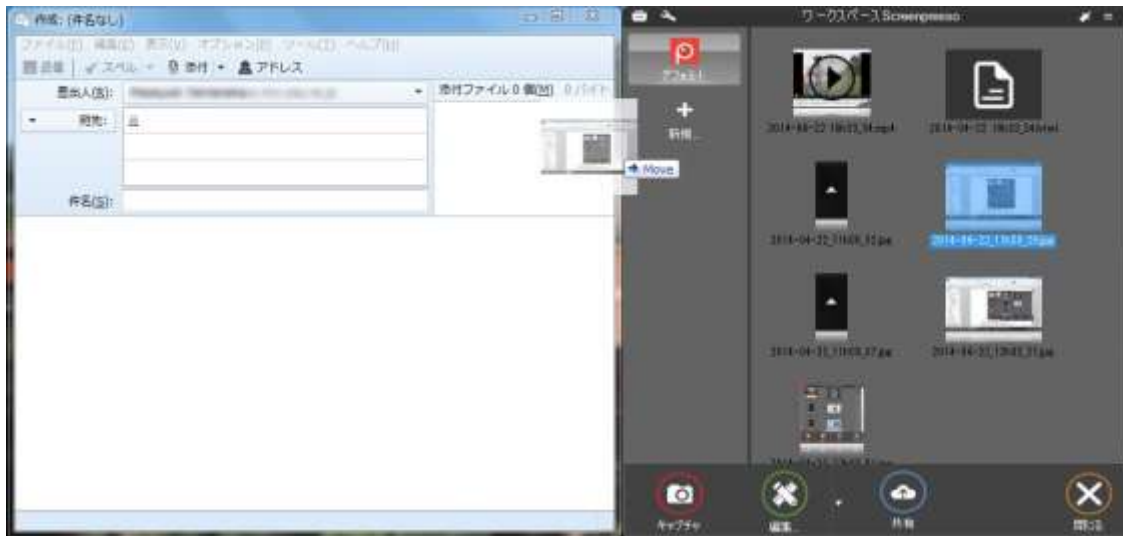
- 1) キャプチャ：画像または動画をキャプチャします。
- 2) 編集：付属もしくは外部エディターを使ってキャプチャしたファイルを編集します。または新しいドキュメントを作成します（複数ファイルを選択した場合）。
- 3) 共有（画像および動画）：ドラッグもしくは左クリックで共有したいファイルを選択して「共有」をクリックすれば Twitter、Dropbox、Facebook などコンテンツを共有できます。
- 4) 自動終了の有効/無効：メイン画面を固定します（自動終了を無効）。
- 5) 設定：Screenpresso の設定画面を開きます。
- 6) 左ワークスペース画面の開閉：左ワークスペース画面の開閉をおこないます。

重要

- ワークスペース画面で表示できる画像および動画の数量に上限はありませんが、5,000 ファイルを超過すると画面の起動に時間がかかる場合があります。

9.2 ドラッグ&ドロップ

ワークスペース内のファイルをドラッグ&ドロップでデスクトップや他のフォルダーに移動したり、メールに添付したりすることができます。



画面 22: メール添付へのドラッグ&ドロップ (例)

9.3 ファイルの自動削除

ワークスペースには最新のキャプチャファイルが最大 40 個保存され、古いものからごみ箱に移動されるよう、初期設定されています。

ファイルの数量が 40 個に達すると、クリーンアップの確認画面が表示されますので、次の項目を設定してください。

- 保存するファイルの数（古いファイルは削除されます）。
- ファイルを削除せず、新しいファイルだけワークスペースに表示する。

9.4 ワークスペースの管理

ワークスペースは画像、動画およびドキュメントが収納されたフォルダーです。複数のワークスペースを作成し、一つを個人のスクリーンショット用、別のワークスペースを業務上のスクリーンショット用などのように個別に管理することができます。



画面 23: 複数のワークスペース画面

- 1) 画面左上端部のアイコンをクリックし、ワークスペースリストを表示する。
- 2) 現在表示されているワークスペース。
- 3) 新しいワークスペース（PC 上での新しいフォルダ）を作成します。クリックすると「ワークスペースのプロパティ」画面が立ち上がるので、ファイルのパスを指定してください。

既存のフォルダーをドラッグ&ドロップすることもできます。



画面 24: 既存フォルダーを新しいワークスペースにドラッグ&ドロップ

既存のフォルダーを Screenpresso のワークスペースリストにドラッグ&ドロップするだけでワークスペースに追加することができます。

ワークスペースのボタンを右クリックすると、下記のメニューが表示されます。

- フォルダーを開く: フォルダーを開いてファイルを表示します。
- 削除: ワークスペースリストからワークスペースを削除します。フォルダーごと削除したい場合は、「ディスクのファイルを全て削除」にチェックを入れてください。
- プロパティ: ワークスペースの名称、アイコンおよび同期設定を変更できます。（9.5 項を参照してください）

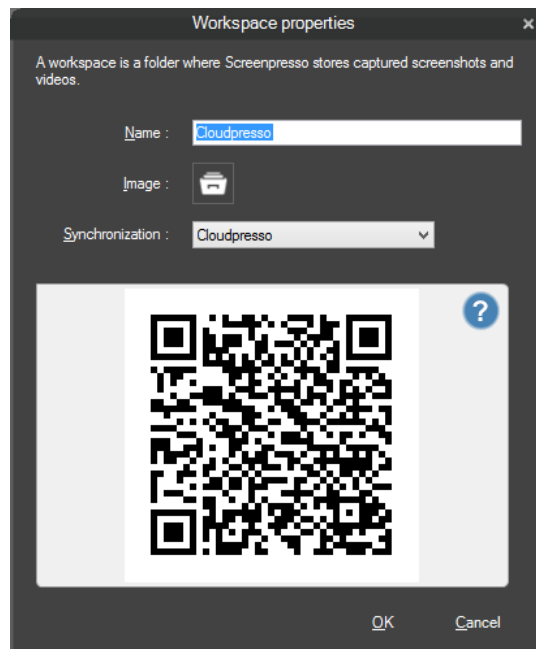
重要:

- 「デフォルト」のワークスペースは削除できません。6.2 項を参照してください。
- 新しいキャプチャファイルは選択されているワークスペースに保存されます。

9.5 ワークスペースの同期

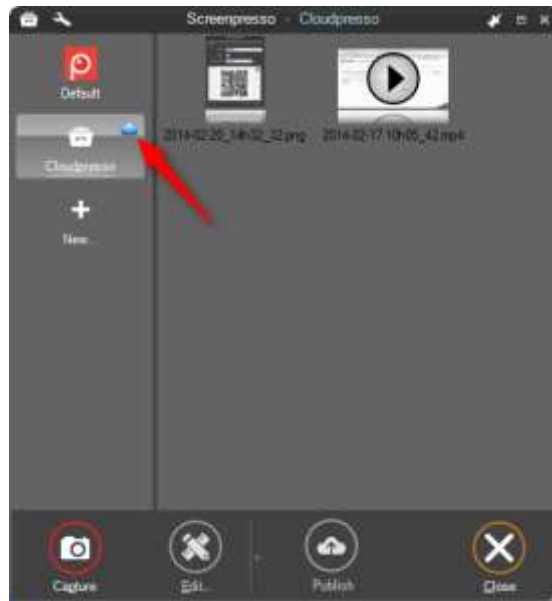
ワークスペースはクラウド上にあるファイルとオンラインで同期することができます。

9.5.1 Screenpresso Cloud との同期



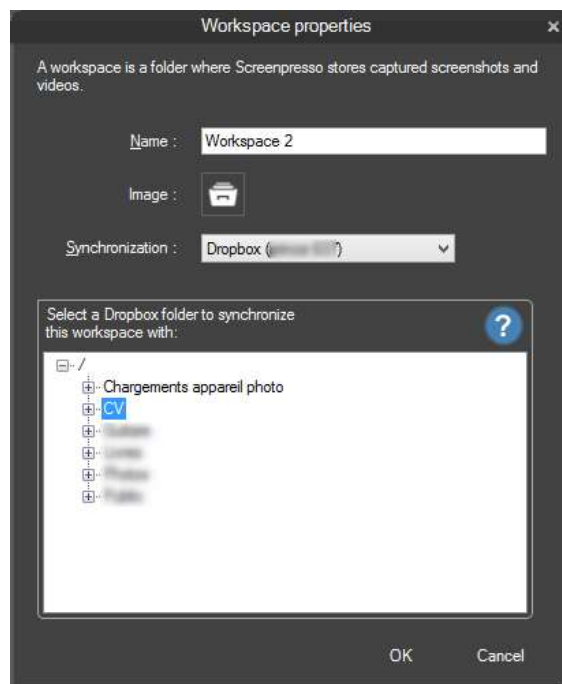
iPhone からワークスペースにファイルを転送することができます。

- 1- App Store から iPhone に Screenpresso をダウンロードします。（英語版のみとなります）
- 2- iPhone にダウンロードした Screenpresso を起動して上記の二次元バーコードを読み取ります。
- 3- 転送したい iPhone のファイルを選択して 'Execute' ボタンをタップすると Screenpresso Cloud へのアップロードが開始されます。
- 4- Screenpresso 内の青い小さな雲のアイコン（ワークスペースの左端にあります）をクリックして Screenpresso Cloud からファイルをダウンロードします。



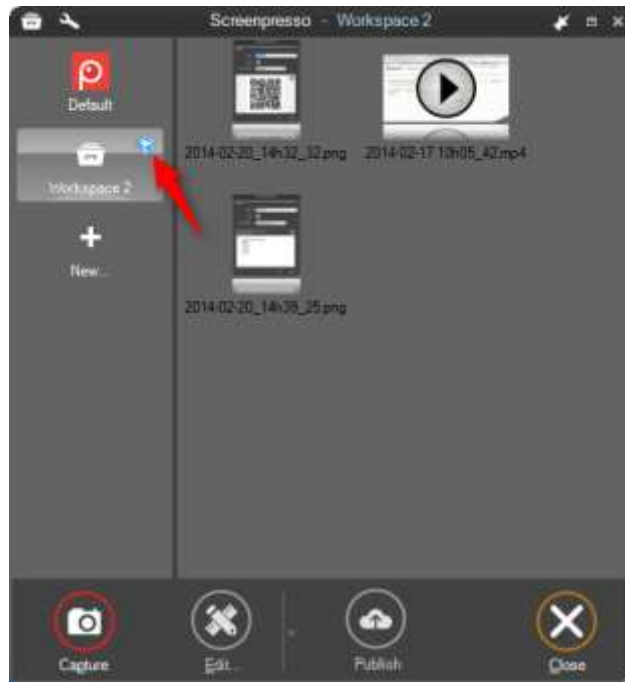
5- ワークスペース画面

9.5.2 Dropbox との同期（将来対応予定）



Dropbox からワークスペースへのファイル同期方法について説明します。

- 1- 同期する Dropbox のフォルダーを選択してください。
- 2- Screenpresso 内の青い小さな Dropbox のアイコン（ワークスペース Screenpresso の左端にあります）をクリックして Dropbox からファイルをダウンロードします。



3- ワークスペース画面

10 ファイルの管理

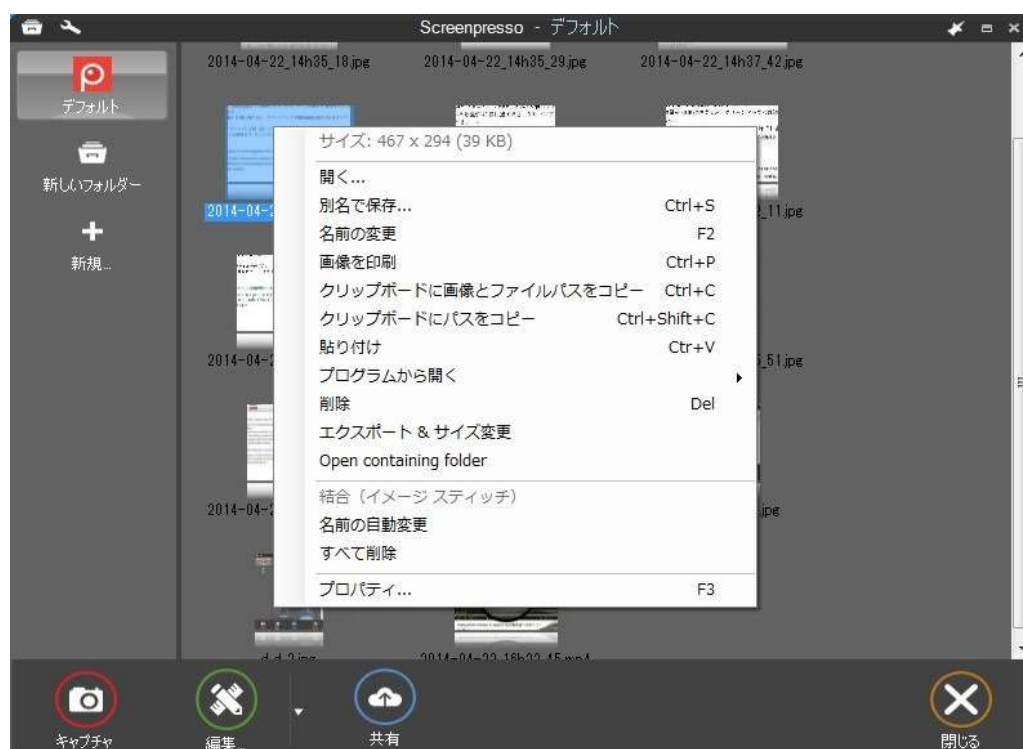
Screenpresso のワークスペースでは、画像や動画などの「メディア」をさまざまな方法で管理できます。

10.1 ファイル管理

メディアを右クリックすると、ファイルの情報（フォーマットとサイズ）およびそのファイルに対して行うことのできる操作のリストが表示されます。



画面 25: 動画右クリックメニュー



画面 26: 右クリックメニュー

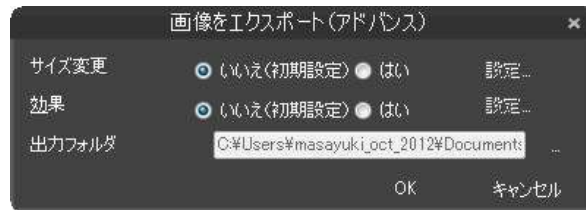
- 「別名で保存」を選択すると PNG, JPEG, GIF, TIFF, BMP, PDF, DOCX.等のフォーマットでファイルを保存できます。



画面 27: 複数ファイル選択時の右クリックメニュー

- 新しいドキュメント... 文書作成画面上に画像ファイルを掲載します。
- 名前の自動変更: 選択したファイル名を “screenshot_1”, “screenshot_2”,...のように自動変更します。
- 結合(イメージスティッチ):同じサイズのファイルを結合します。

- **エクスポート&サイズ変更:** サイズ変更や効果の追加をおこなってファイルをエクスポートします。(Screenpresso PRO のみ)



画面 28: エクスポート&サイズ変更

重要:

- 右クリックメニューでは貼り付けを使用することができます: クリップボードからワークスペースへの画像の貼り付けができます。
- ワークスペースに貼り付けできるファイル数に上限はありません。

10.1.1 ファイルの削除

ファイルを削除する場合は、削除するファイルを選択して「Del」キーを押してください。または、ファイルを右クリックして「削除」を選択することで削除することもできます。「Ctrl」キーを押しながらクリックすれば、複数のファイルを一度に選択することができます。Windows エクスプローラを使用しているファイルを消去した場合、ワークスペース画面を再起動すれば消去した内容が反映されます。

10.1.2 ファイル名の変更

以下のいずれかの方法でファイル名を変更することができます:

- ファイル名をゆっくり 2 回クリックする
- F2 ボタンを押す
- 右クリック-「名前の変更」を選択する

ファイルの種類の変更

ファイル名を変更する際に拡張子を変更することでファイルの種類を変更することができます。例えば、ファイル名の変更で「screenshot.png」から「screenshot.jpg」とした場合、ファイルの種類が.jpg に変更されます。ファイルの種類を変更するにはファイルを右クリックで選択し、「名前の変更」から変更してください。

10.1.3 異なるワークスペースにファイルを移動

ワークスペースで表示されているファイルはドラッグ&ドロップで別のワークスペースに移動することができます。ファイルが保存されているフォルダーに直接アクセスする場合は、ファイルを右クリックして「Open containing folder」を選択してください。



画面 29: 異なるワークスペース（「デフォルト」から
「新しいフォルダー」へのファイルの移動）

10.1.4 ファイルの表示順序

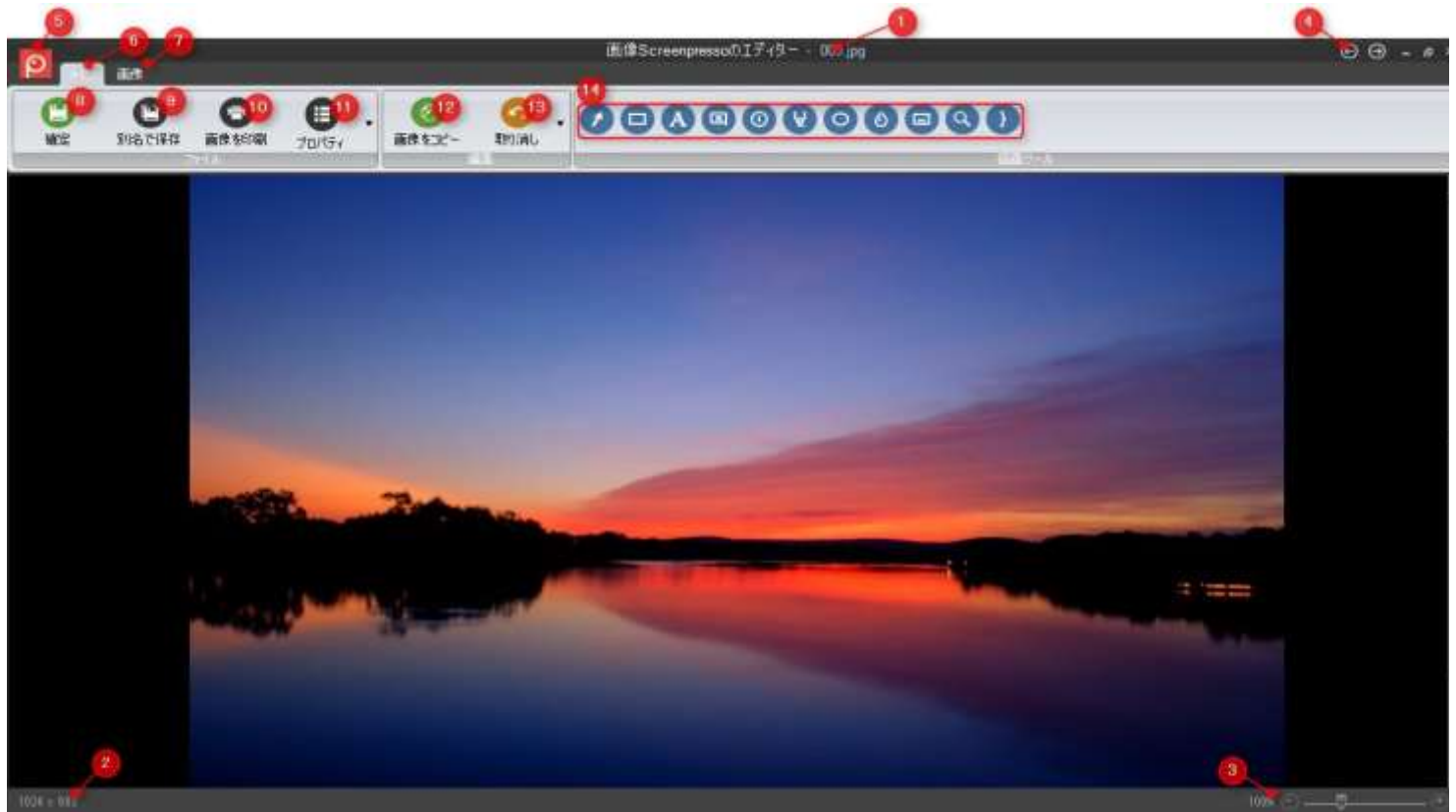
初期設定ではファイルは古いものから順に表示されています。

「設定」→「高度な設定」で表示順序を逆転させることができます。詳細は [Error! Reference source not found.](#)項を参照してください。

11 ファイルの編集

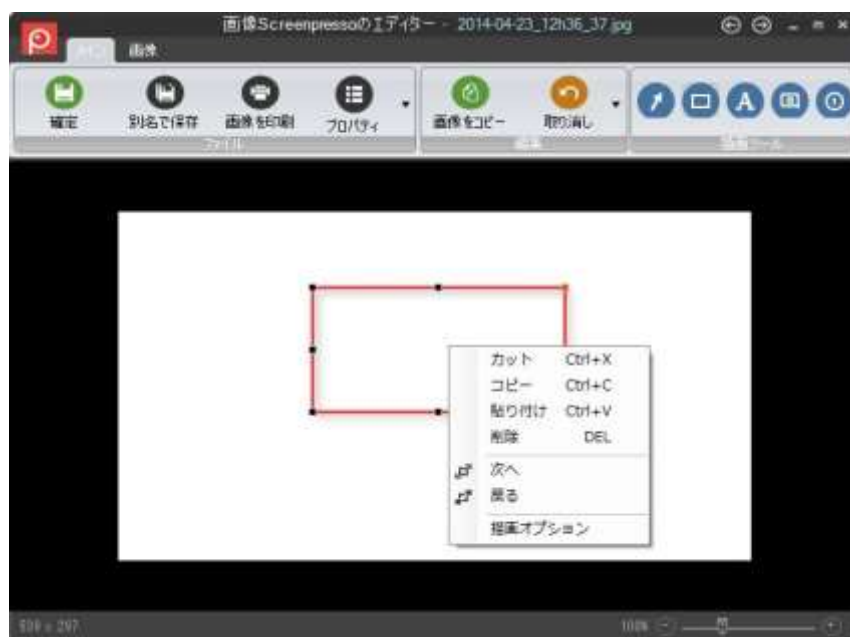
Screenpresso には編集機能が含まれており、注釈や効果の挿入、サイズの変更などをおこなうことができます。ワークスペースで編集したいファイルをダブルクリックするか「編集」ボタンを押してください。





11.1 メイン画面



- 1) ファイル名
- 2) ファイルのサイズ（幅×高さ、ピクセル）
- 3) ズーム
- 4) ワークスペース内の前もしくは次のファイルを表示
- 5) メインメニュー
- 6) メインタブ
- 7) 画像タブ
- 8) 「確定」ボタン：下記作業に使用します。
 - a. 作業内容を確定して保存
 - b. エディターを閉じる
 - c. ファイルをクリップボードにコピー
- 9) 別名で保存
- 10) 画像を印刷
- 11) プロパティ：ファイル名と説明を追加
- 12) 画像をコピー：画像をクリップボードに保存
- 13) 取り消し：最後の動作を取り消し
- 14) 描画ツール:

- 新しい画像を追加：描画ツール（例：長方形）を選択してください。
- マウスでドラッグして画像の位置や大きさを設定してください。カーソルをオレンジのグリップに合わせる、もしくは右クリック→描画オプションで描画オプション画面を表示できます。

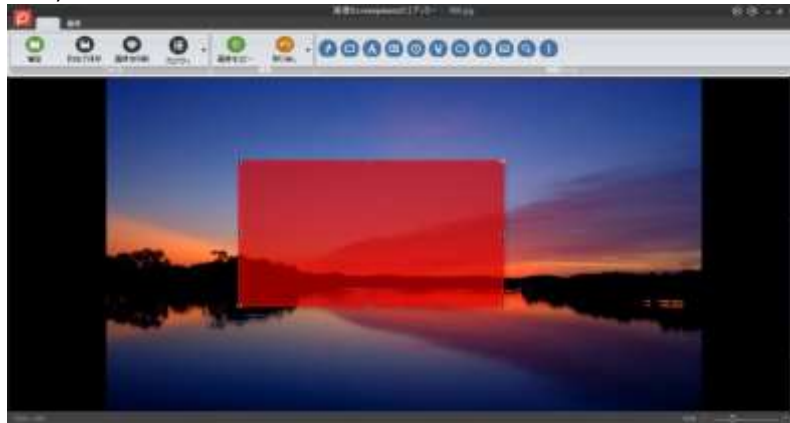


描画ツール	説明
	<p>複数種類の矢印を挿入できます。矢印の一例：</p>  <p>描画オプション:</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1) 矢印の種類 2) 矢印の色 3) 透過性: 100% で不透明、 0%で透明 4) 線の幅 5) 線の種類（実線または破線から選択：一部未対応の種類あり） 6) 線の影
	<p>長方形の囲みを挿入します。角を丸くすることもできます。 PC 画面のスクリーンショットを取り、クリックする場所を目立たせたい時などに使用してください。</p>

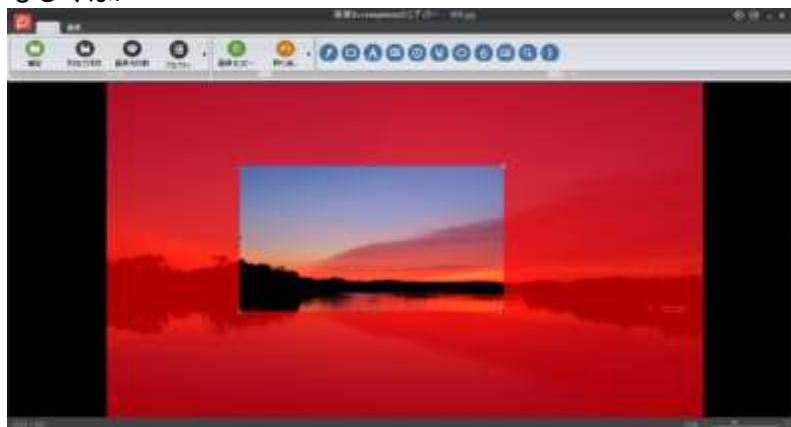
描画オプション:



- 1) 色
- 2) 透過性
- 3) 塗りつぶし: 枠の内側もしくは外側のいずれかを塗りつぶします。



もしくは:



- 4) 線の幅
- 5) 角の丸み: 0px で直角、以後少しずつ丸くなります。



指定した領域をぼかしてプライバシーを保護します。



描画オプション :



1) ぼかしレベルを調整します :

ぼかしレベル 1 :

Download latest version

ぼかしレベル 8 :

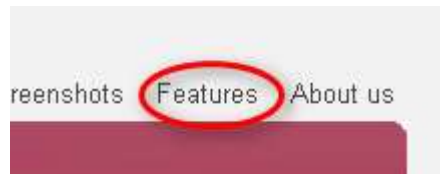
Download latest version

ぼかしレベル 20 :

Download latest version



楕円もしくは円を挿入します。スクリーンショットの画面で特に強調したい部分に使用します。



描画オプション:



四角の囲みの挿入を参照してください。



テキストを挿入します。画像とテキストの境界に白いボーダーを入れることができます。

sample

描画オプション :



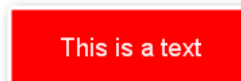
- 1) テキストのスタイル: 太字, イタリック, 下線
- 2) テキストの位置: 左寄せ、中央揃え、右寄せ
- 3) フォント
- 4) テキストの色
- 5) フォントサイズ (ピクセル)
- 6) テキストの透過性
- 7) グロー (画像とテキストの境界)



- 8) 画像とテキストの境界の影



画像に吹き出しを挿入します



または

吹き出し口を移動、伸縮させるには黄色の部分をクリックします。



重要:

吹き出し口の位置を変更せず、テキストボックスの位置のみを変更する場合には ALT キーを押しながらマウスで移動させてください。

描画オプション :



基本的にテキストの描画オプションと同様です：

- 1) テキストの種類：普通もしくは吹き出し
- 2) 塗りつぶしの色
- 3) 塗りつぶし



スタンプやイラストを挿入します。

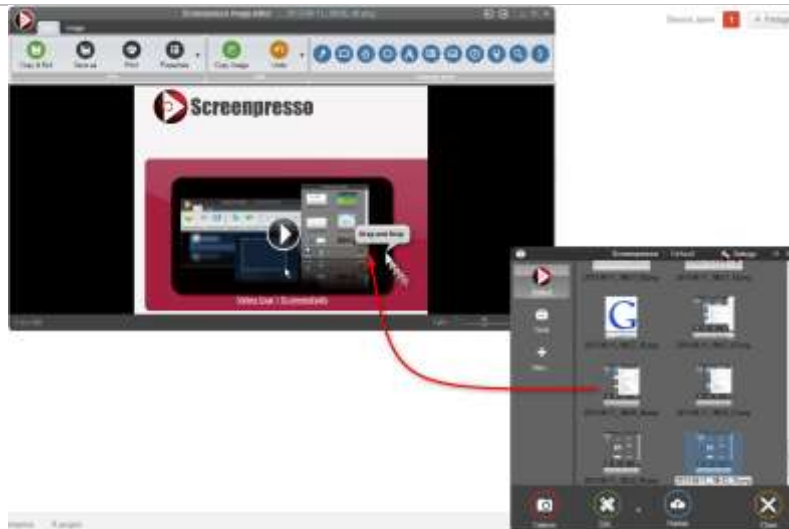


カーソルのイラストを数種類の中から選ぶことができます：



重要:

- PC に保存されているスタンプやイラストを参照して使用することもできます。
- 編集中外の画像もドラッグ&ドロップで編集画面に追加できます。



- 画像の短辺と長辺の比率は維持されます。
- ズームスライダーでスタンプの大きさを変更することができます。



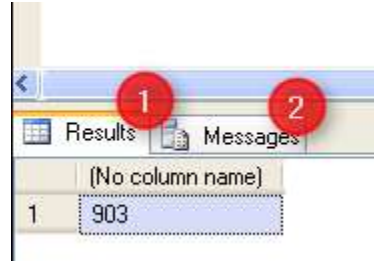
描画オプション（スタンプをダブルクリックし、枠線のオレンジ色の四角を右クリック）：



- 1) 透過性
- 2) 影
- 3) サイズ

①

画像に番号を挿入します。

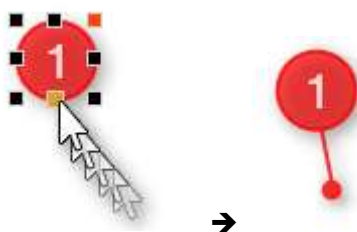


描画オプション：



- 1) 開始する番号を決めます。
- 2) この数値から番号付けを続けます。
- 3) 矢印の種類を選びます。

黄色のグリップをドラッグすると矢印が伸びます。



スクリーンショット画面の説明のときに使えます。



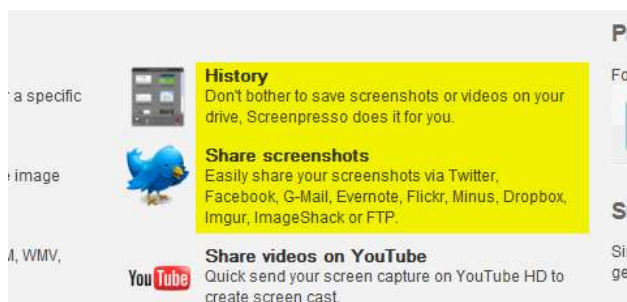
- 4) 塗りつぶしの色
- 5) 文字の色
- 6) 円と文字のサイズ

重要:

矢印は移動させずに円だけ移動する場合は ALT キーを押しながらマウスで円を移動させてください。



スクリーンショット画像を目立たせたいときに使用します。



描画オプション :



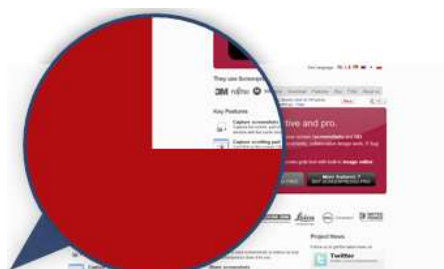
虫眼鏡をつかう:



描画オプション :



- 1) ソースイメージを保存
- 2) ズーム倍率を設定
- 3) 塗りつぶしの色 (例: 赤の場合)



- 4) 拡大部分と元の画像の境界の色
- 5) 線の幅

重要:

- 拡大部分のみを移動させ、線の位置をそのままにしておきたい場合は ALT キーを押しながら拡大部分を移動させてください。
- 画像全体のサイズを変更する前にソースイメージを保存することをお勧めします。
例: 虫眼鏡のズーム倍率を 1x とし、その後ソースイメージを保存してください。
そして画像全体の大きさを 25%に縮小してください。

**重要:**

- ツールの選択を解除する場合：
 - Esc キー を押す
 - あるいは選択を解除する対象を **右クリック**
- 描画アイテムをコピー/貼り付けする場合：
 - 対象アイテムを右クリックし、コピーして貼付ける。
 - CTRL キーを押しながら対象をドラッグ&ドロップ
- 正方形（長さ＝高さ）の囲みを作成する場合、CTRL キーを押しながら対象アイテムのサイズを変更してください。
- ユーザごとにカスタマイズされた描画オプションの設定を登録することもできます。



描画オプション内の全ての項目を設定し、「基本設定」（１）ボタンを押せば、その設定を登録することができます。そうすれば、以降同じ内容のアイテムを挿入することができます。



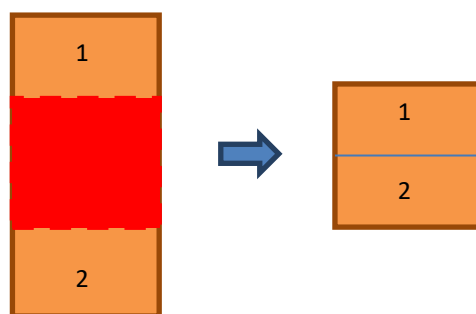
設定を削除する場合は右上の×印をクリックしてください。

11.2 画像タブ

エディターの画像タブには以下の機能があります：



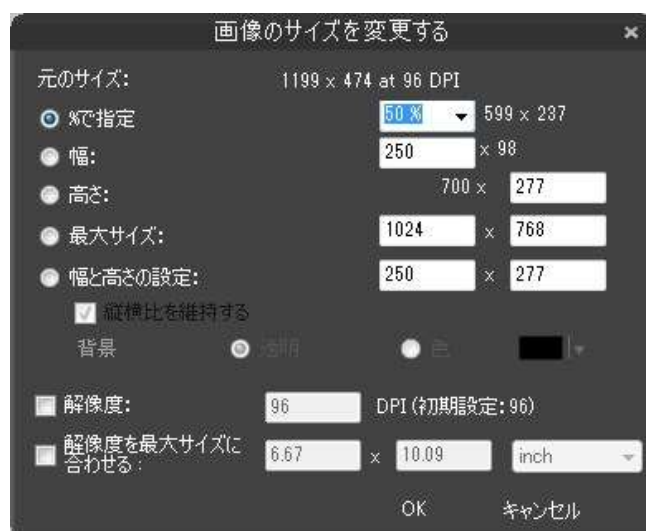
- 15) 「確定」ボタンは以下の動作に使用します。
 - a. 画像編集を保存するとき
 - b. エディターを閉じるとき
 - c. クリップボードに画像を保存するとき
- 16) 「切り取り」：画像の一部を切り取ります。
- 17) 「縮小」：スクリーンショットの特定の部分を削除します。画像の冗長部分を削除し、必要な部分のみを残します（下図参照）



上図（１）と（２）の境界部分の線は数種類から選択できます。



18) サイズ変更：様々な方法で画像のサイズを変更することができます。

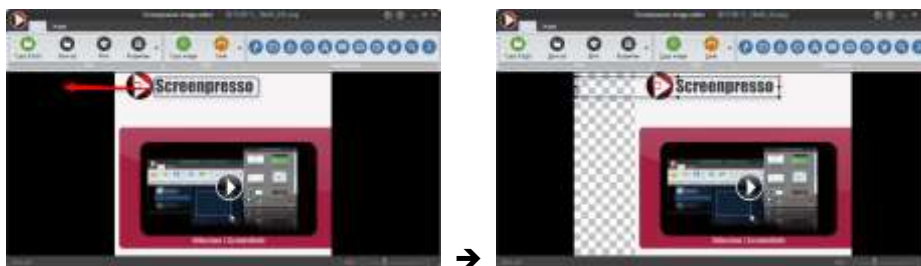


19) キャンバスサイズ：作業領域の設定です

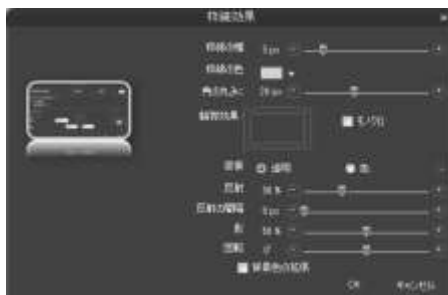


キャンバスサイズを自動設定（推奨）できるほか、サイズを変更することもできます。また、キャンバスの色を設定することもできます。

キャンバスサイズ変更モードが自動に設定されていれば、挿入された描画アイテムや画像がキャンバスより大きい場合、キャンバスサイズが自動的に変更されます。



20) 枠線：画像に枠線効果を挿入します。（Screenpresso PRO のみ）



下記の枠線を挿入できます：

- 通常の枠線（四角形）
- 丸みを帯びた枠線
- 破れた枠線（下記参照）



- 反射：



- 反射の間隔
- 影の挿入
- 画像の回転（下記参照）：



重要：

- 上記の各効果を無効にする場合は、該当する項目の数値を最小にしてください。

11.3 隠し機能

作業中のワークスペース内で表示中の画像の前もしくは次にある画像をクリックして開く場合、最初に Ctrl キーを押しながらクリップボードに画像を保存し、削除して新しい画像を開いてください。Alt キーを押しながら「コピーして閉じる」をクリックすると、開いている全ての画像エディターに対して同じ操作がおこなえます。

Ctrl キーを押しながら「閉じる」ボタン（ウィンドウの右上）をクリックすると、画像をクリップボードにコピー、削除し、新しい画像を開きます。「Shift」キーを押しながら「閉じる」をクリックすると、全ての画像エディターでの変更を破棄してウィンドウを閉じます。

11.4 別のエディターで編集

「編集」ボタン右の三角をクリックして編集に使用する任意のエディターを選ぶことができます。



12 動画の編集

12.1 内臓エディター

Screenpresso に内蔵されている動画エディターには下記の機能があります：

- サイズ変更

- 画像のエクスポート
- 動画フォーマットの変換 (mp4, wmv, ...)

ワークスペースの編集したい動画を選んで「編集」ボタンを押して Screenpresso メディアプレイヤーを起動してください。ダブルクリックでも立ち上げることができます。



- 1) 画像のエクスポート
- 2) 動画フォーマットの変換

12.2 別のエディターで編集

ワークスペース内で編集したいファイルを右クリック→「プログラムから開く」から編集に使用する任意のエディターを選択することもできます。

13 ドキュメント生成ツール

画像をもとにして PDF、DOCX、HTML あるいは GIF アニメーションを作成することができます。ユーザマニュアルやトレーニングマニュアルの作成に使用できます。

13.1 基本的な使い方

1. ワークスペースで複数の画像を選択します。そして、「新しいドキュメント」をクリックします。



2. Screenpresso の内臓エディターが起動します。



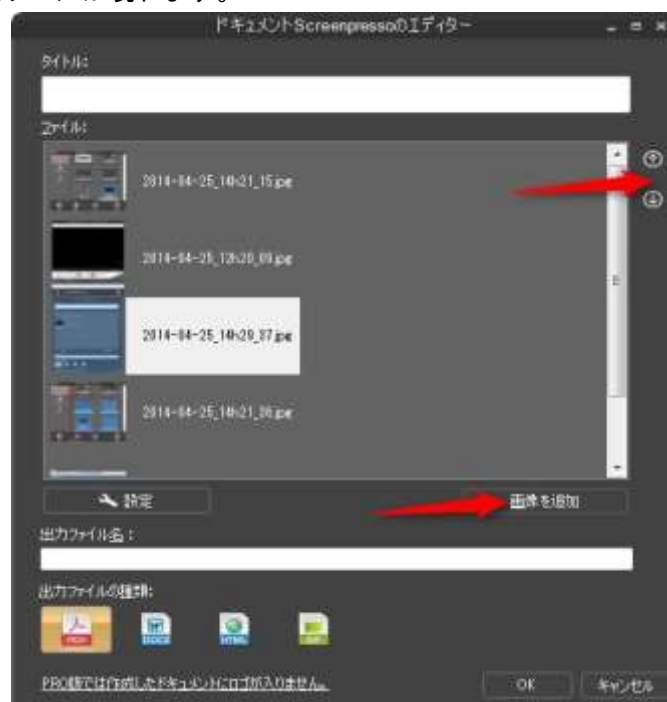
3. 画像をダブルクリックして編集します。



- a. 「画像の名前を付けてください」部分をクリックして画像のタイトルを付けてください。
- b. 「画像の説明を付け加えてください」部分をクリックして画像の説明を入れてください。HTML のタグを使用できます。例えば「これは重要機能です」といった標記も可能です。
- c. 番号を選択した場合、エディター下面の欄にその説明を追加することができます。



4. 「確定」をクリック。
5. ドキュメント生成ツールが現れます。



6. 画像をクリックして選択し、上下いずれかの矢印をクリックすると画像の表示順序を入れ替えることができます。
7. 画像をクリックして選択し、Del キーを押すとドキュメント生成リストから削除されます。(PC から削除されることはありません)
8. 「画像を追加」をクリックすると、ワークスペース画面が表示され、ドラッグ&ドロップで画像を追加することができます。
9. 出力ファイルの種類を選んでください。PDF、Word 2007、HTML もしくは GIF 出力が可能です。
10. 「OK」ボタンをクリックします。

11. 出力されたドキュメントはデフォルトのプログラムによって展開されます。(例: PDF→Acrobat Reader) ファイルはワークスペースのフォルダー内に保存されます。



ワークスペースでドキュメントファイルをダブルクリックすれば再編集したり、ファイルを追加したりすることも可能です。

重要:

出力されたファイルは Microsoft Word 2007 テンプレートファイルに準拠しています。Screenpresso.exe の含まれるフォルダーにある「Template.docx」というファイルはファイル出力に使用されています。Microsoft Word file editor がインストールされた PC を使用している場合、「設定」画面にあるボタンを使ってこのテンプレートを開くことができます。

13.2 設定

ドキュメント生成ツールのデフォルト設定を変更することができます。



1. 画像によっては方向を変えることができます。
2. 画像の下に説明を表示することができます。
3. 1 ページに掲載する画像を 1 個に限定します。
4. ドキュメント出力に際して定形となるひな形を開きます。Microsoft Word file editor が必要です。
5. GIF アニメーション出力に際する画像間の遅延時間を設定します。

14 ファイルの共有

14.1 ローカル内での移動

以下の方法でワークスペースにあるファイルを移動できます:

- 右クリック→「別名で保存」(または Ctrl+S)→フォーマットを選択
- 移動先のフォルダーにドラッグ&ドロップ

14.2 ウェブサービスやクラウドで共有

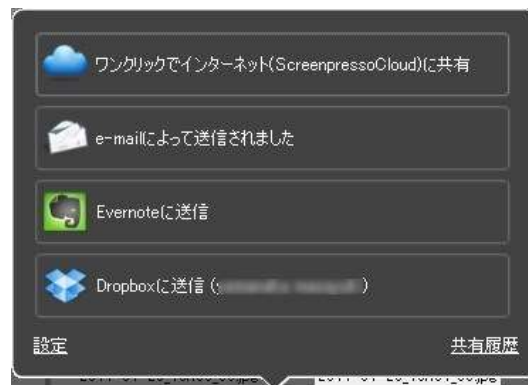
Screenpresso は主なクラウドサービスに対応しています。

「設定」画面を開き、「共有」タブを開いてください。



- 追加するアカウントのアイコンを選んでアカウントを追加してください。
- 削除する場合は、削除するアカウントを選択して「ごみ箱」のアイコンをクリックしてください。

アカウントの接続の確立後、ワークスペース内の「共有」ボタンをクリックしてサービスに接続できるようにしているかご確認ください。

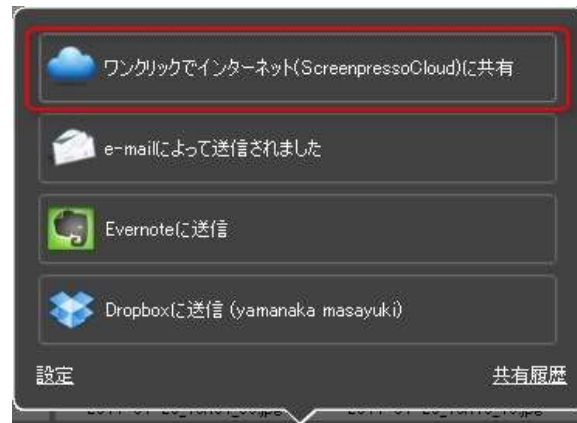


重要：

- Screenpresso Pro のみに対応した共有サービスがあります。
- 共有サービスでサポートされていない種類のファイルは共有できません。また、複数のファイルを一度にアップロードできないサービスもありますのでご注意ください。

14.2.1 Screenpresso Cloud でパブリック URL を取得する

Screenpresso には Screenpresso Cloud と呼ばれる専用の共有システムがあります。「共有」ボタンを押した際、Screenpresso Cloud のボタンはリストの一番上に表示されます。



Screenpresso Cloud にファイルをアップロード後、共有用のパブリック URL を発行します。

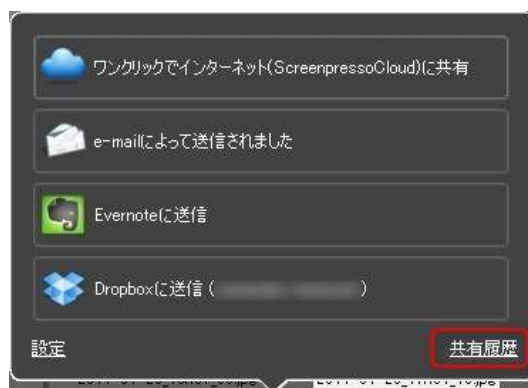


出力されたウェブページの例：



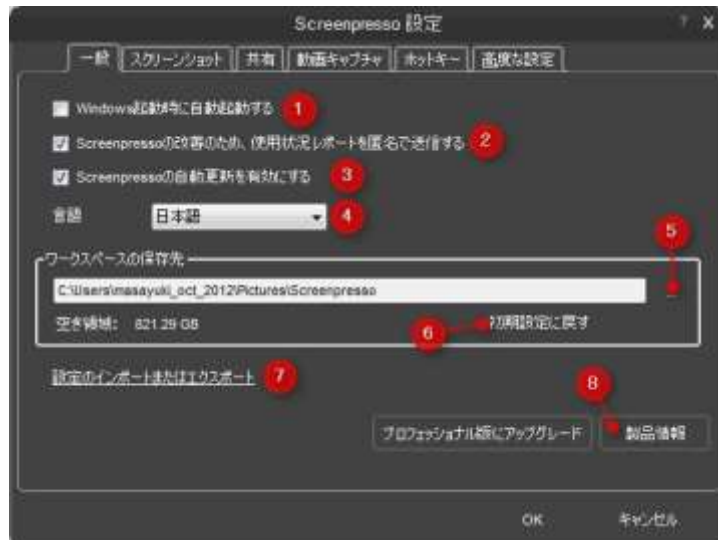
14.2.2 共有履歴

「共有履歴」をクリックして各種ウェブサービスにアップロードしたデータの履歴を確認することができます。



15 設定

15.1 一般



- 1) 起動時に自動起動する。
- 2) Screenpresso の機能改善のため、使用状況レポートを匿名で送信する。
- 3) Screenpresso の自動更新を有効にする。
- 4) 言語
- 5) ワークスペースの保存先フォルダーを指定する。
- 6) ワークスペースの保存先フォルダーを初期値に戻す。
- 7) Screenpresso の設定情報をインポートもしくはエクスポートする。
- 8) 製品情報

15.2 スクリーンショット



- 1) 初期設定の画像形式を選択してください：
 - a. JPG (品質を変更できます)
 - b. GIF
 - c. PNG
 - d. TIF (品質を変更できます)
 - e. BMP
- 2) ワークスペースに表示するファイルの数量を設定します。「設定」ボタンを押せば、数量の上限に達した際にファイルを隠す(削除しない)、または古いファイルを削除するか選択することができます。

- 3) ファイル名を設定します：
 - a. 日付
 - b. 数字
 - c. ユーザー設定：「設定」ボタンを押してファイル名の付与パターンを設定できます。
- 4) スクリーンショット後の操作を決めます。
 - a. ワークスペースを開く
 - b. 内部エディターを開く
 - c. 吹き出しをつける
 - d. 何もしない
- 5) クリップボードの内容を決めます：
 - a. 画像
 - b. 画像 + ファイルパス
 - c. ファイルパス
 - d. なし
- 6) キャプチャを遅らせて起動（3 秒）
- 7) 背景をクリーン



- 8) カーソルをキャプチャ：キャプチャ画面にカーソルのポインタ画像を含める場合にはチェックをいれてください。（「M」ボタンを押しながらキャプチャすれば、ポインタ画像も一緒にキャプチャできます）
- 9) 画像のサイズ変更：キャプチャ画面に適用されるサイズ変更設定
- 10) 画像効果：キャプチャ画面に適用される画像効果設定
- 11) すかし：キャプチャ画面に適用される透かしの設定（Screenpresso PRO のみ。キャプチャ時に「W」キーを押せば適用の有無を個別に選択することが可能です。）



15.3 共有

Error! Reference source not found.項で解説した共有設定を行うタブです。

15.4 動画キャプチャ

動画キャプチャの設定をおこないます：



- 1) 動画ファイルの名称を設定します。
- 2) 動画キャプチャ後に Screenpresso メディアプレイヤーでプレビューを再生します。
- 3) 動画キャプチャ開始前にカウントダウンを表示します。
- 4) 動画キャプチャ中にマウスポインタを黄色で強調します。
- 5) 動画キャプチャ中、クリックしたところを強調します。
 - a. 左クリック:
 - b. 右クリック:
- 6) 音声を収録します。
- 7) Windows の録音設定画面を開きます。
- 8) 録画に使用するウェブカメラを設定します。
- 9) オーディオの詳細設定をおこないます。

15.5 高度な設定

ここでは、上級ユーザー向けの高度な設定について解説します。



下記を含む詳細な設定をおこなうことができます：

- ショートカット/ホットキー

CaptureShortcutKey	Print Screen
CaptureVideoWebCamShortcutKey	F7
CaptureVideoZoomAlsoUseWinKey	True
CaptureVideoZoomShortcutKey	F8

- マウスで強調したときの色：

VideoCaptureCursorHighlightColor	 Yellow
VideoCaptureCursorHighlightColorLeftClick	 Red
VideoCaptureCursorHighlightColorRightClick	 Blue

- イメージコンテキスト（アプリケーションのタイトル、名称、URL など）のキャプチャ。Evernoteを使用するときに役立ちます。

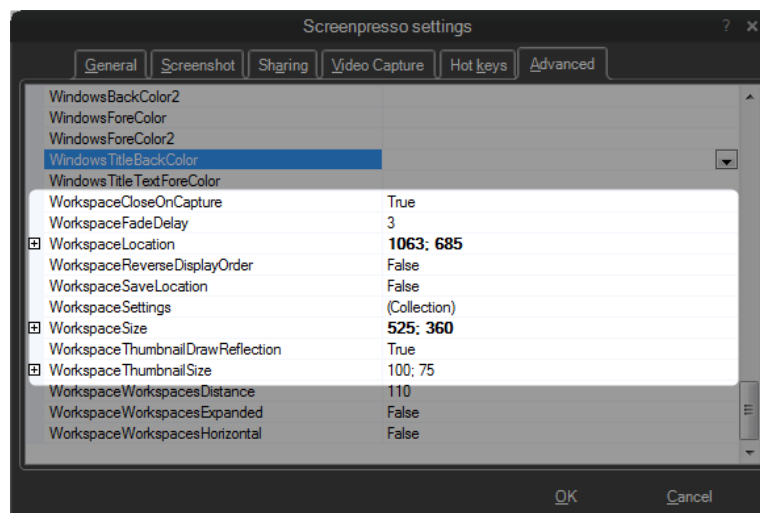
CaptureContext	False
----------------	-------

- Use the recycle bin:

UseRecycleBin	True
---------------	------

Recycle bin を無効化するとパフォーマンスが向上することがあります。

15.5.1 ワークスペースの上級者向け設定



WorkspaceCloseOnCapture	True に設定した場合、新しいスクリーンショットを撮影する際にワークスペースを自動的に閉じます。ワークスペースのスクリーンショットを撮影する場合には False に設定してください。（注：Screenpresso の一画面を撮影する場合、撮影する画面を選択して ALT+PrintScreen ボタンを押せば撮影できます。その後、ワークスペース画面内で CTRL+V ボタンを押せば撮影した画面を貼り付けることができます。
WorkspaceFadeDelay	ワークスペースが自動的に閉じるまでの秒数を設定します。常に表示する場合は 9999 に設定してください。
WorkspaceLocation	画面内の X 軸と Y 軸の座標です。
WorkspaceReverseDisplayOrder	スクリーンショット画像を新しいものから順番に表示します。
WorkspaceSaveLocation	初期設定では、ワークスペースは画面内の決まった位置に表示されます。True に設定し、画面を任意の位置に移動させ、その場所でプログラムを終了すると、次回立ち上げ時にはその場所でプログラムが起動します。
WorkspaceSize	ウィンドウの幅と高さを設定します。
WorkspaceThumbnailDrawReflection	False に設定するとワークスペースで表示されているサムネイルの反射を消去します。
WorkspaceThumbnailSize	ワークスペースで表示されるサムネイルの幅と高さを設定します。
WorkspaceWorkspacesDistance	ワークスペース画面の幅を設定します。
WorkspaceWorkspacesHorizontal	初期設定ではワークスペースの左側にあるフォルダー表示画面を true に設定した場合に画面上部に表示します。